

令和 6 年度
由 布 市 民 意 識 調 査
報 告 書（速報値）

令和 7 年 1 月
由布市 総合政策課

目 次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者自身について	2
(2) 「住みよさ日本一のまち」について	5
(3) 各施策の重要度・満足度について	13
(4) 福祉施策の取組について	18
(5) Well-being指標について	33

I. 調査概要

(1) 調査の目的

この調査は、由布市民の市政に対する意識についてうかがい、現在策定を進めている「第三次由布市総合計画（向こう10年の由布市の将来像を描く計画）」の方向性を決める基礎資料として活用することを目的として行った。

(2) 調査の概要

調査対象	2024年（令和6年）10月1日時点で由布市に住民票を有する18歳以上の市民を各町の人口、年代別人口で案分し、無作為抽出した3,500人
調査方法	Web調査（希望者には郵送調査で対応）

(3) 実施期間

期間	内容
2024年（令和6年）11月1日（金）	調査協力依頼状発送（3,500人） Web調査ページ公開
2024年（令和6年）11月1日（金）より随時	調査票（紙媒体）発送 ※調査協力依頼状発送の3,500人のうち、紙媒体での回答希望者に随時発送
2024年（令和6年）11月22日（金）	回収締切
2024年（令和6年）12月	集計・分析作業
2024年（令和6年）12月～2025年（令和7年）1月	調査報告書（速報値）作成

(4) 回収状況

回収数（n）	1,147件	Web回答数	1,129件
		紙媒体回答数	18件
回収率	32.8%（1,147／3,500×100）		

(5) 報告書の見方

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示している。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0％とならない場合がある。
- (2) 調査結果における「全体」は設問の全回答者数を表しており、「構成比（％）」は全回答に占める各選択肢の回答割合を表している。
- (3) 調査結果における「n」は、回答者数を表している。

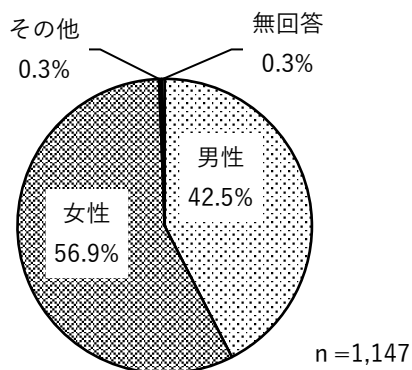
2. 調査結果

(1) 回答者自身について

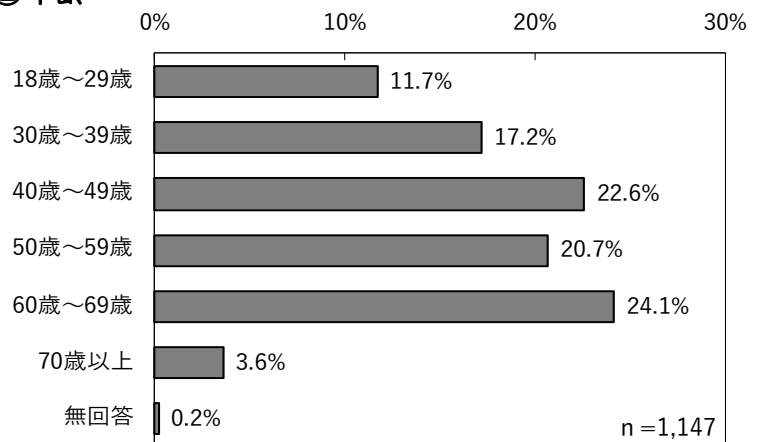
2. 調査結果

(1) 回答者自身について

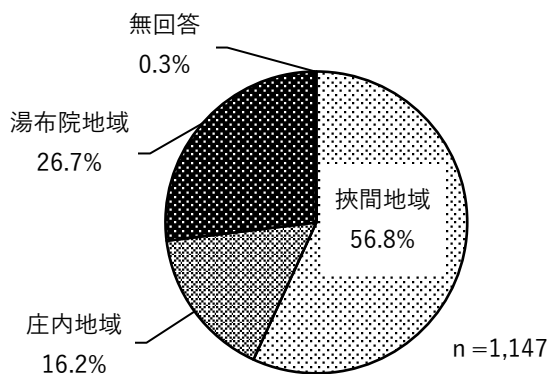
①性別



②年齢

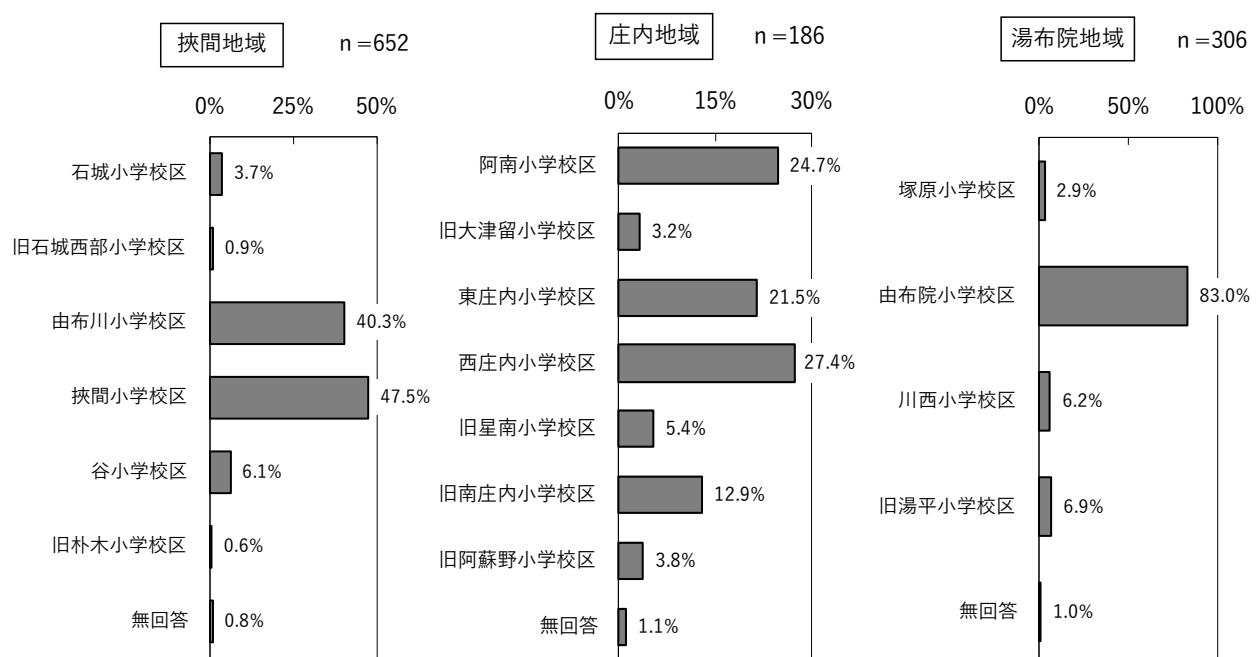


③居住地域



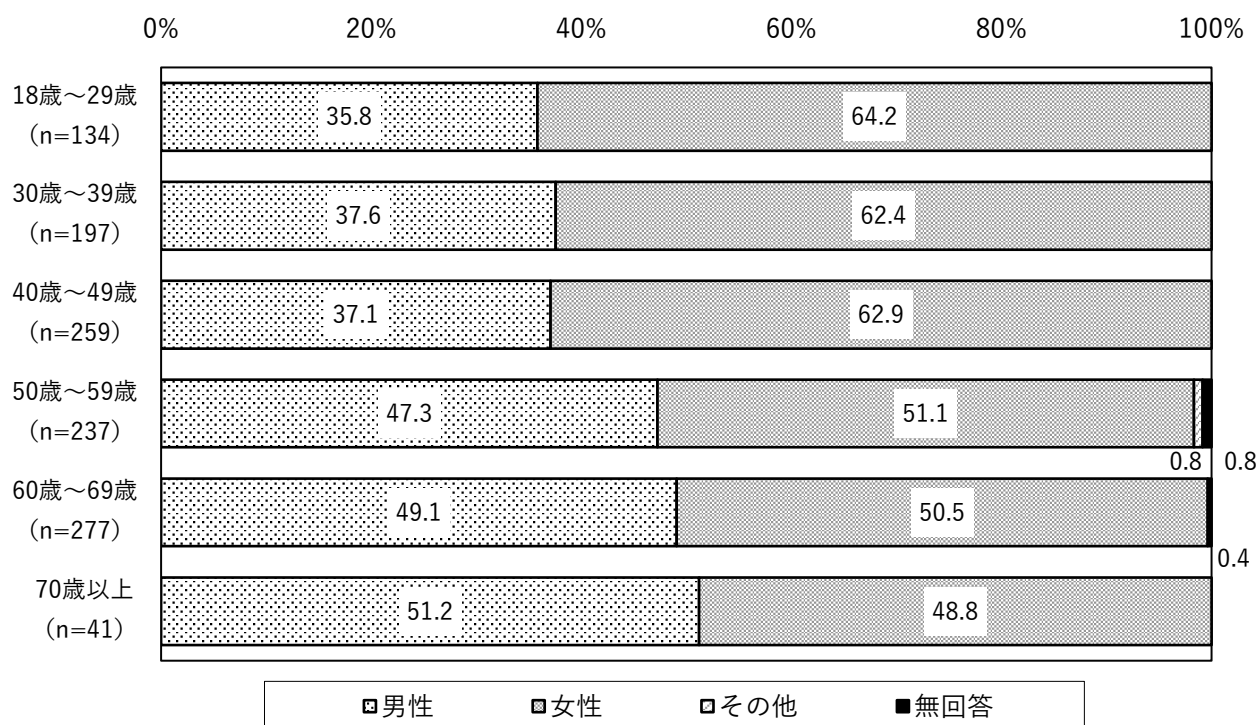
回答者は女性が56.9%と過半数を占めている。年齢別では、60代が24.1%と最も回答数が多い。居住地域別では、挟間地域が56.8%と過半数を占めている。

④居住地域（旧小学校区）



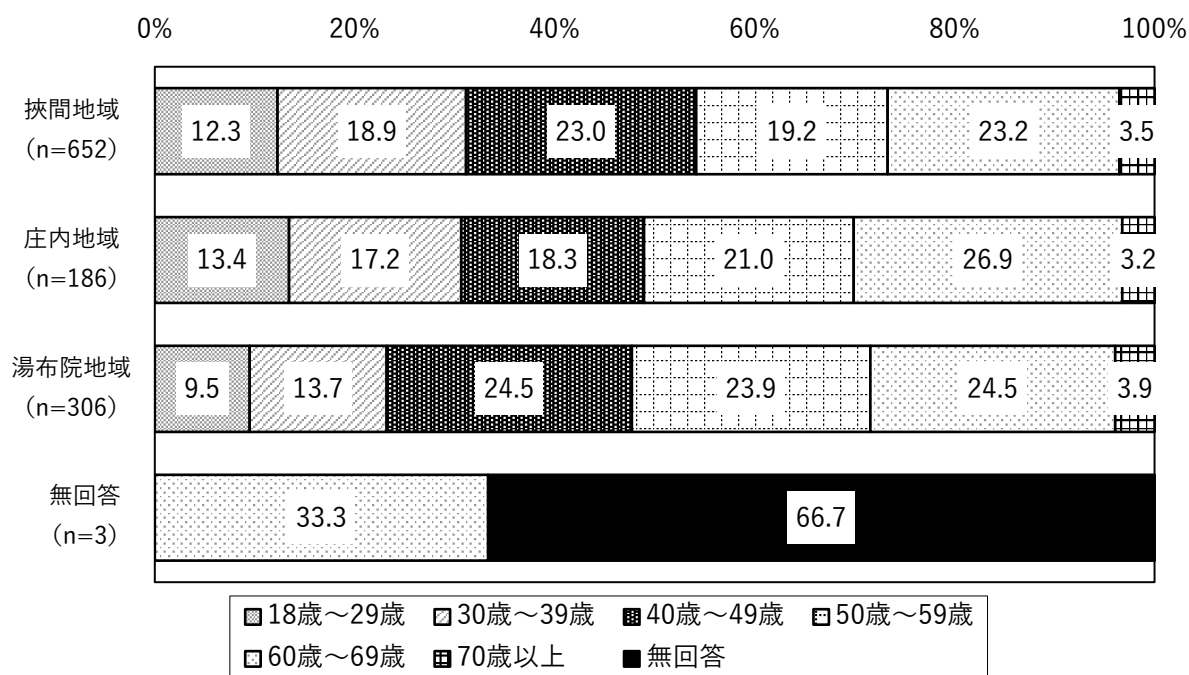
(1) 回答者自身について

⑤年齢別にみる回答者の性別



70歳以上の回答者を除いて、女性が過半数を占めている。50代以上の回答者は男性と女性の割合がほとんど同じだが、40代以下の回答者は女性が60%以上を占めている。

⑥地域別にみる回答者の年齢

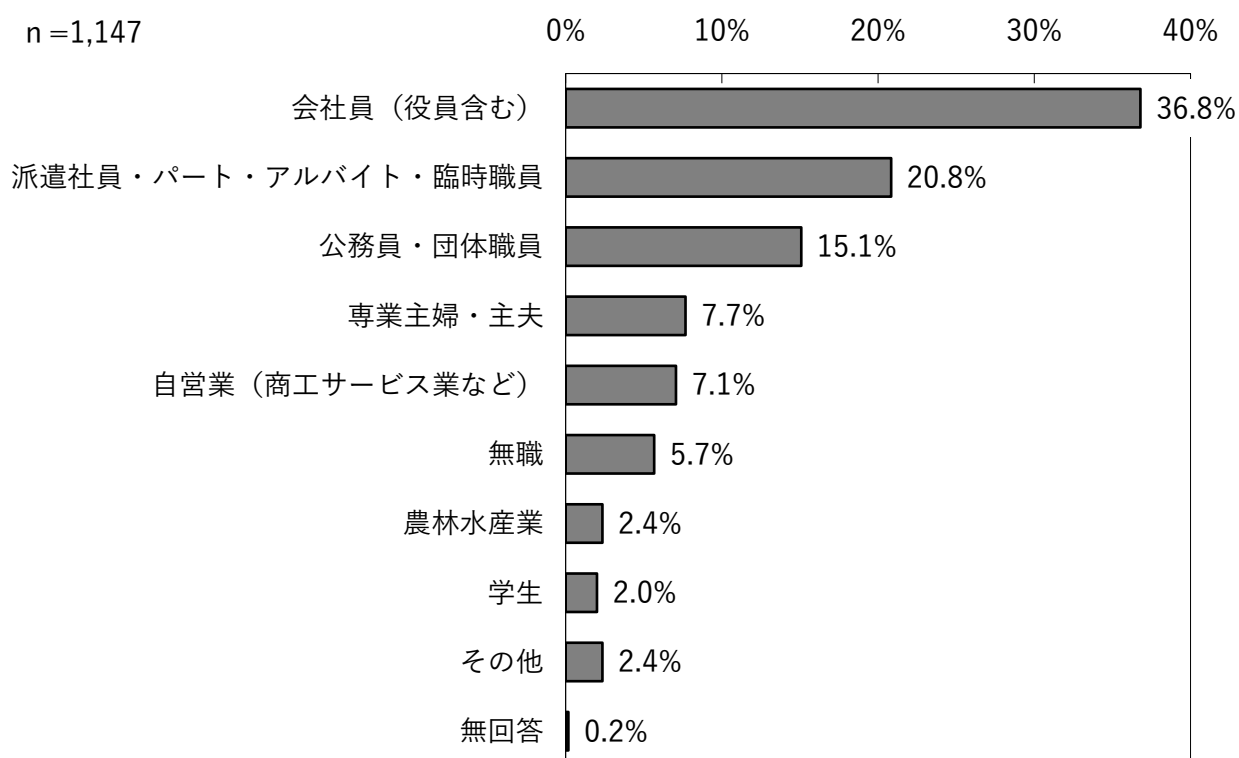


挾間地域・庄内地域では60代の回答者が最も多く、湯布院地域では40代と60代の回答者が同率で最も多い。挾間地域では40代以下の回答者が過半数を占めるのに対し、庄内地域・湯布院地域では50代以上の回答者が過半数を占めている。

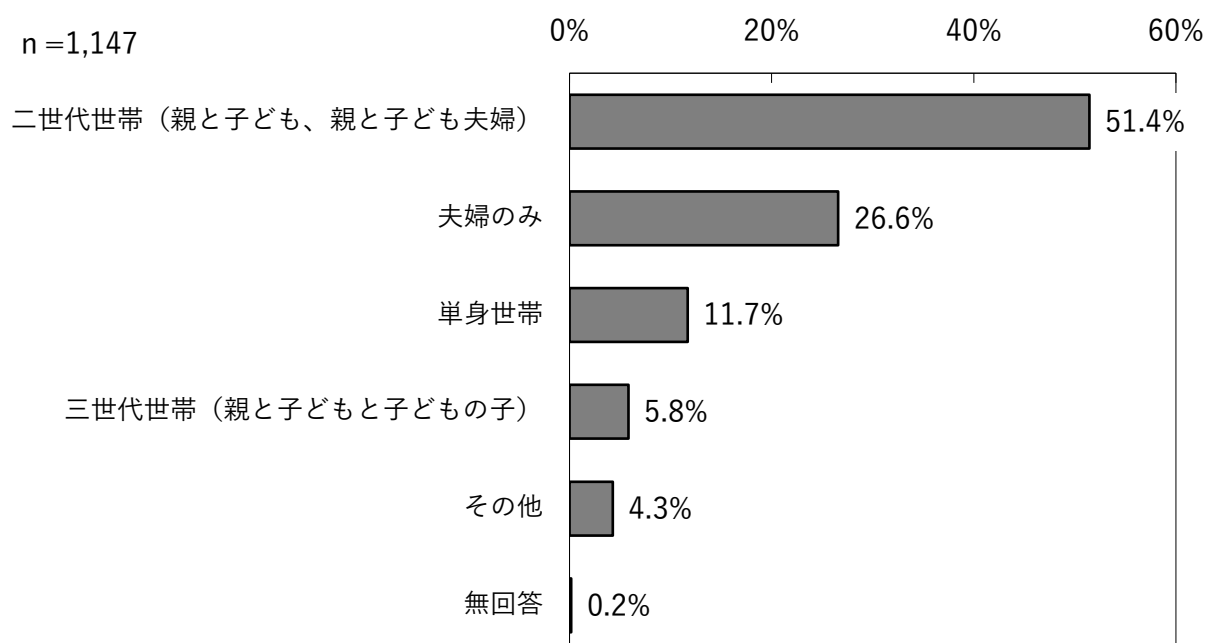
2. 調査結果

(1) 回答者自身について

⑦職業



⑧家族構成

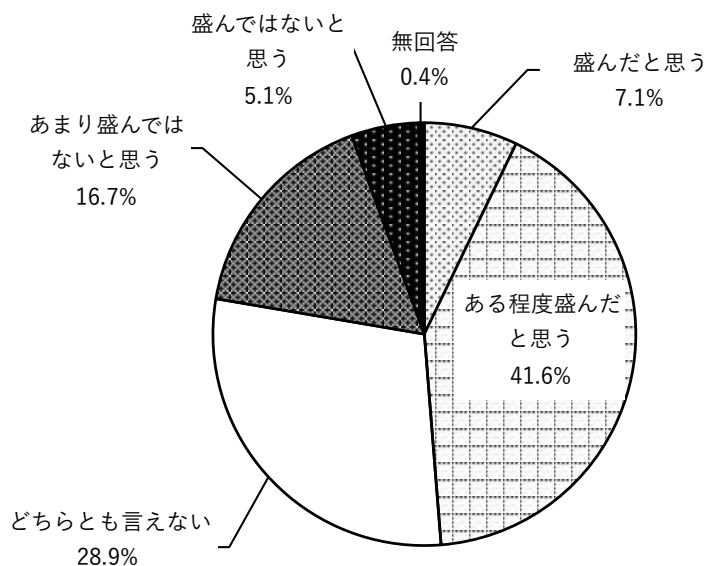


回答者の職業は、「会社員（役員含む）」が36.8%と最も回答割合が高く、次いで「派遣社員・パート・アルバイト・臨時職員」が20.8%となっている。家族構成については、「二世世代世帯（親と子ども、親と子ども夫婦）」が過半数を占めている。

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

問1. あなたの暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んであると思いますか。（○は1つ）



n=1,147

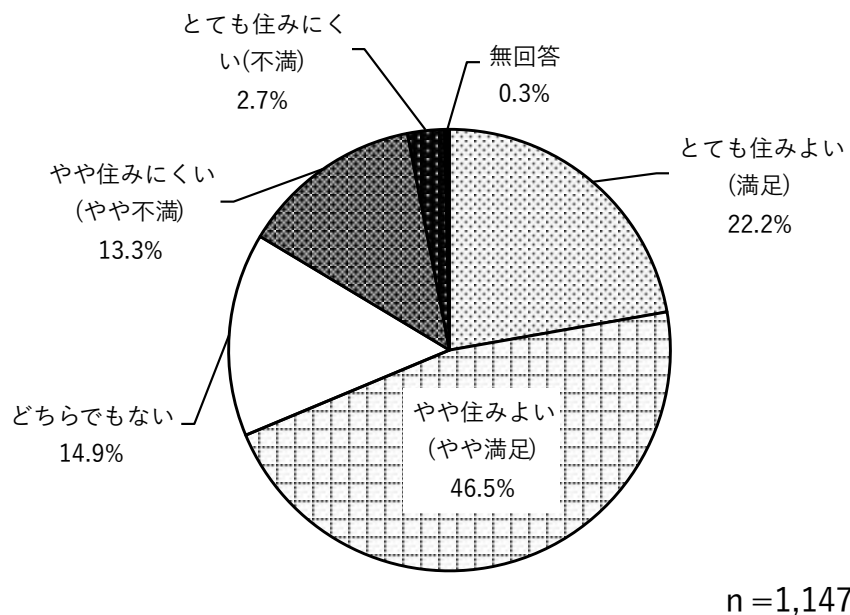
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	盛んだと思う	82	7.1
2	ある程度盛んだと思う	477	41.6
3	どちらとも言えない	332	28.9
4	あまり盛んではないと思う	192	16.7
5	盛んではないと思う	59	5.1
	無回答	5	0.4
	全体	1,147	100.0

「ある程度盛んだと思う」が41.6%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が28.9%、「あまり盛んではないと思う」が16.7%となっている。

2. 調査結果

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

問2. あなたにとって、由布市は住みよい地域ですか。
地域での暮らしにどの程度満足していますか。(○は1つ)

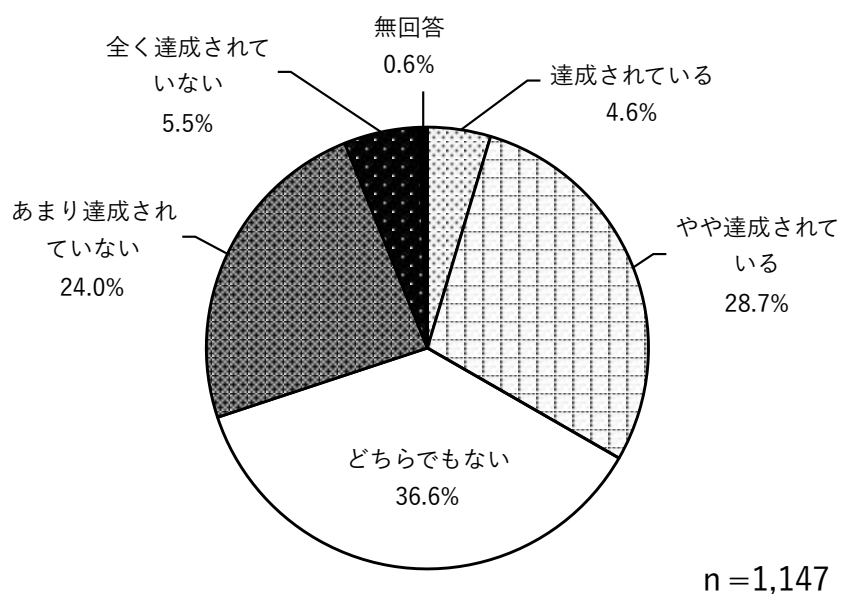


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	とても住みよい (満足)	255	22.2
2	やや住みよい (やや満足)	533	46.5
3	どちらでもない	171	14.9
4	やや住みにくい (やや不満)	153	13.3
5	とても住みにくい (不満)	31	2.7
	無回答	4	0.3
	全体	1,147	100.0

「やや住みよい (やや満足)」との回答割合が最も高く、46.5%となっている。「住みよい (とても住みよい+やや住みよい)」は68.7%を占めており、多くの市民は由布市が住みよい地域だと感じていることが明らかになった。

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

問3. まちづくりの目標「地域自治を大切にした 住みよさ日本一のまち・由布市」はどの程度達成されていると感じますか。(〇は1つ)



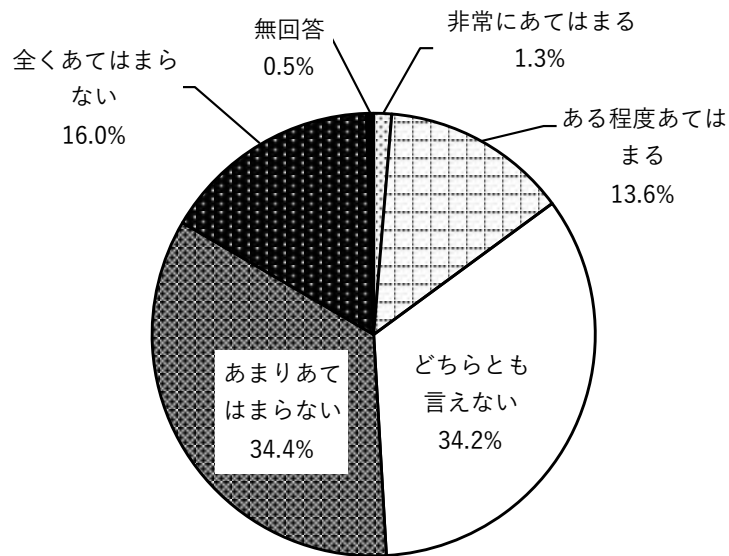
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	達成されている	53	4.6
2	やや達成されている	329	28.7
3	どちらでもない	420	36.6
4	あまり達成されていない	275	24.0
5	全く達成されていない	63	5.5
	無回答	7	0.6
	全体	1,147	100.0

「どちらでもない」との回答割合が最も高く、36.6%となっている。「達成されている（達成されている＋やや達成されている）」は33.3%、「達成されていない（あまり達成されていない＋全く達成されていない）」は29.5%を占めており、「達成されている」の方がやや高い結果となった。

2. 調査結果

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

問4. あなたの暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすいですか。
(○は1つ)



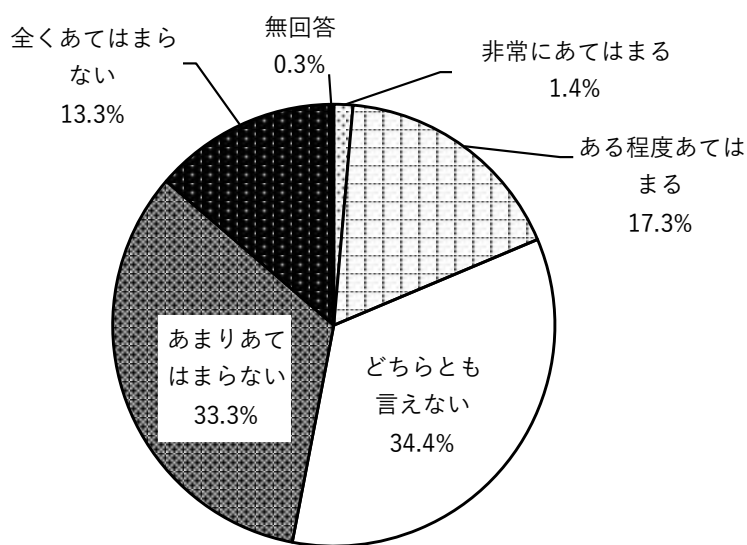
n=1,147

No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	非常にあてはまる	15	1.3
2	ある程度あてはまる	156	13.6
3	どちらとも言えない	392	34.2
4	あまりあてはまらない	394	34.4
5	全くあてはまらない	184	16.0
	無回答	6	0.5
	全体	1,147	100.0

「あまりあてはまらない」との回答割合が最も高く、34.4%となっている。「あてはまらない(あまりあてはまらない+全くあてはまらない)」が50.4%と過半数を占めている。

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

問5. あなたの暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がありますか。
(○は1つ)



n=1,147

No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	非常にあてはまる	16	1.4
2	ある程度あてはまる	198	17.3
3	どちらとも言えない	394	34.4
4	あまりあてはまらない	382	33.3
5	全くあてはまらない	153	13.3
	無回答	4	0.3
	全体	1,147	100.0

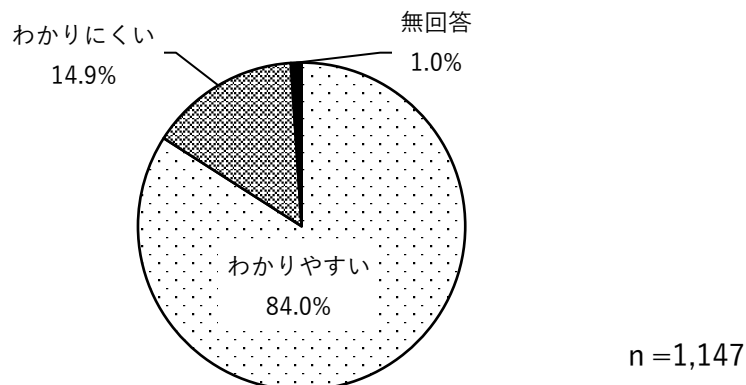
「どちらとも言えない」との回答割合が最も高く、34.4%となっている。「あてはまらない（あまりあてはまらない＋全くあてはまらない）」が46.6%と過半数近くを占めている。

2. 調査結果

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

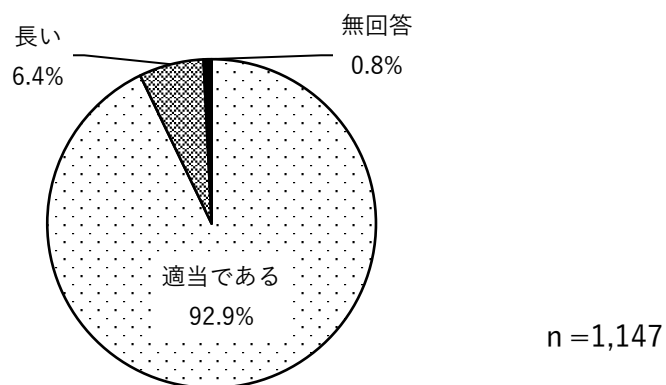
問6. 各市民窓口での手続きに対する評価を教えてください。(○は1つずつ)

(1) 庁舎内の案内・窓口での説明のわかりやすさ



No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	わかりやすい	964	84.0
2	わかりにくい	171	14.9
	無回答	12	1.0
	全体	1,147	100.0

(2) 待ち時間の長さ

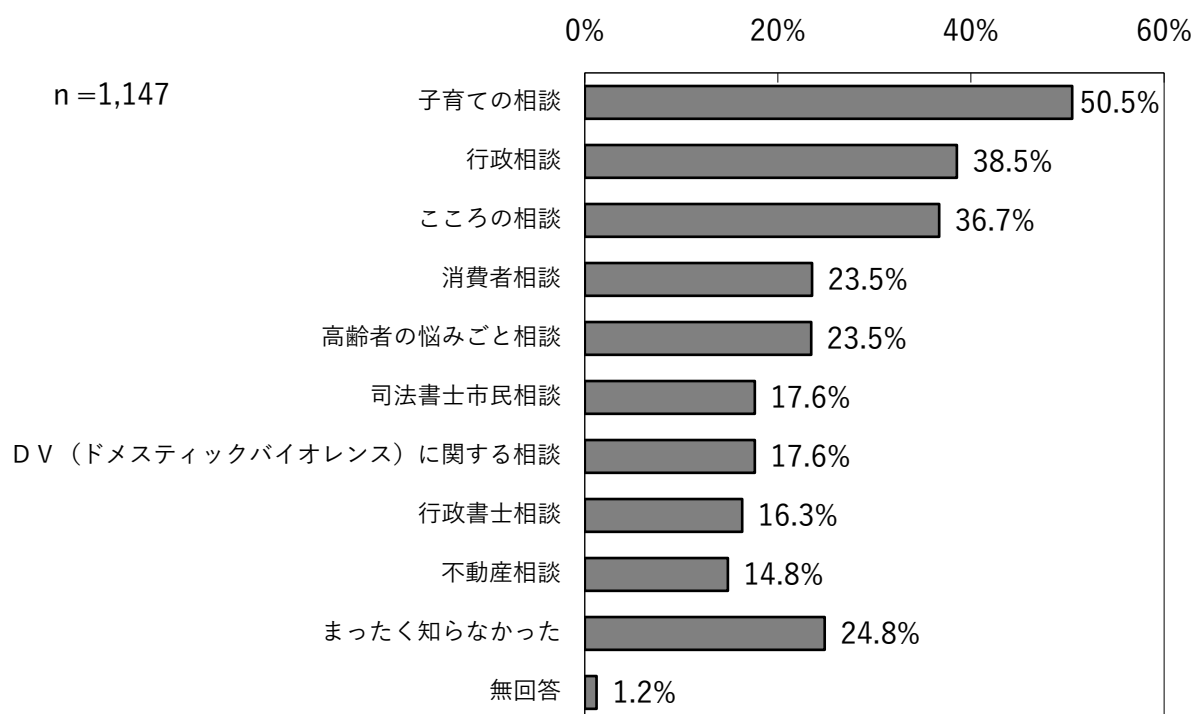


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	適当である	1,065	92.9
2	長い	73	6.4
	無回答	9	0.8
	全体	1,147	100.0

「庁舎内の案内・窓口での説明のわかりやすさ」については「わかりやすい」が84.0%、「待ち時間の長さ」については「適当である」が92.9%と多数を占めている。

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

問7. 市役所では市民からの様々な相談を受け付ける窓口の開設と、相談業務を行っております。(暮らしの相談窓口) 下記について知っているもの・聞いたことがあるものに○をつけてください。(○はいくつでも)



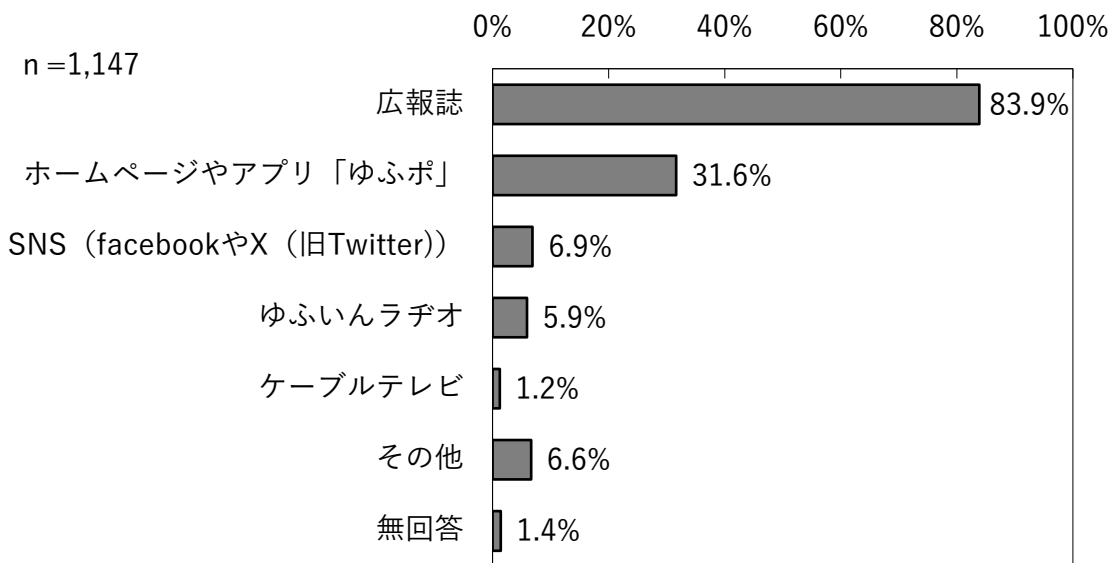
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	子育ての相談	579	50.5
2	行政相談	442	38.5
3	こころの相談	421	36.7
4	消費者相談	270	23.5
5	高齢者の悩みごと相談	269	23.5
6	司法書士市民相談	202	17.6
7	DV (ドメスティックバイオレンス) に関する相談	202	17.6
8	行政書士相談	187	16.3
9	不動産相談	170	14.8
10	まったく知らなかった	285	24.8
	無回答	14	1.2

「子育ての相談」が50.5%と最も高く、次いで「行政相談」が38.5%、「こころの相談」が36.7%となっている。

2. 調査結果

(2) 「住みよさ日本一のまち」について

問8. あなたは、普段どのような方法で由布市からの行政情報を受け取りますか。
(〇はいくつでも)



No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	広報誌	962	83.9
2	ホームページやアプリ「ゆふポ」	363	31.6
3	SNS	79	6.9
4	ゆふいんラヂオ	68	5.9
5	ケーブルテレビ	14	1.2
6	その他	76	6.6
	無回答	16	1.4

「広報誌」が83.9%と最も高く、次いで「ホームページやアプリ『ゆふポ』」が31.6%となっている。

(3) 各施策の重要度・満足度について

(3) 各施策の重要度・満足度について

①重要度（問9～問20）

最も割合が高い項目

2 番目に割合が高い項目

施策分野	問	施策	全体 (人)	とても 重要	重要	言 え ち な い と も	で あ ま り 重 要	重 要 で な い	わ か ら な い	無 回 答
住民参画	問9	地域組織等への支援	1,147	14.2%	45.2%	25.8%	6.5%	3.1%	5.1%	0.3%
消防・防災	問10	救急や防災対策	1,147	36.1%	40.5%	16.1%	1.3%	0.4%	5.0%	0.5%
	問11	公共交通網の充実	1,147	33.7%	43.4%	13.6%	4.2%	1.0%	3.7%	0.4%
健康・医療	問12	地域での健康づくり	1,147	18.7%	50.9%	20.5%	4.4%	1.8%	3.2%	0.5%
教育・文化	問13	生涯学習の場	1,147	18.7%	46.7%	23.2%	4.4%	2.0%	4.6%	0.4%
子育て	問14	子育て支援活動	1,147	43.2%	35.2%	12.1%	1.5%	1.0%	6.5%	0.5%
農林畜産業	問15	農林畜産業の持続活動	1,147	24.4%	44.2%	18.4%	2.4%	0.4%	9.5%	0.7%
	問16	農商工観の連携	1,147	13.5%	39.1%	28.2%	4.4%	1.2%	12.9%	0.7%
自然環境	問17	豊かな水資源の確保	1,147	35.8%	42.2%	13.3%	1.3%	0.1%	6.8%	0.5%
交流	問18	地域資源を活かした交流促進	1,147	13.1%	36.4%	30.6%	7.0%	2.4%	9.9%	0.7%
	問19	地域の魅力発信	1,147	22.0%	45.9%	20.5%	3.7%	1.7%	5.2%	1.0%
	問20	U I J ターンの推進	1,147	20.1%	44.7%	23.9%	3.3%	1.4%	6.2%	0.3%

「子育て支援活動」は「とても重要」の回答割合が最も高く、他の施策については「重要」の割合が最も高い。

2番目に割合が高い項目も踏まえると、「とても重要」「重要」の回答割合が高い施策は、「救急や防災対策」「公共交通網の充実」「子育て支援活動」「農林畜産業の持続活動」「豊かな水資源の確保」「地域の魅力発信」である。

2. 調査結果

(3) 各施策の重要度・満足度について

②満足度（問9～問20）

最も割合が高い項目

2 番目に割合が高い項目

施策分野	問	施策	全体 (人)	満足	やや満足	どちら でもない	やや不満	不満	わからない	無回答
住民参画	問9	地域組織等への支援	1,147	4.5%	28.1%	47.7%	7.7%	3.2%	8.5%	0.3%
消防・防災	問10	救急や防災対策	1,147	10.0%	29.5%	39.3%	6.9%	3.3%	10.5%	0.4%
	問11	公共交通網の充実	1,147	2.8%	12.3%	32.7%	22.5%	19.7%	9.2%	0.8%
健康・医療	問12	地域での健康づくり	1,147	8.2%	31.1%	40.5%	6.1%	2.8%	10.6%	0.6%
教育・文化	問13	生涯学習の場	1,147	4.4%	23.9%	47.0%	8.8%	3.6%	11.9%	0.5%
子育て	問14	子育て支援活動	1,147	11.2%	27.2%	31.0%	7.4%	4.4%	18.4%	0.3%
農林畜産業	問15	農林畜産業の持続活動	1,147	2.0%	7.7%	45.8%	10.5%	7.1%	26.5%	0.5%
	問16	農商工観の連携	1,147	2.4%	12.3%	47.8%	6.9%	3.0%	27.1%	0.5%
自然環境	問17	豊かな水資源の確保	1,147	3.7%	19.1%	42.8%	8.2%	4.6%	20.8%	0.7%
交流	問18	地域資源を活かした交流促進	1,147	2.6%	12.6%	50.8%	6.6%	2.9%	23.8%	0.7%
	問19	地域の魅力発信	1,147	4.3%	21.0%	42.9%	11.2%	5.2%	14.6%	0.7%
	問20	UIJターンの推進	1,147	1.7%	9.6%	49.6%	9.9%	5.8%	23.1%	0.3%

いずれの施策についても、「どちらとも言えない」の回答割合が最も高くなっている。

2番目に割合が高い項目については、「地域組織等への支援」「救急や防災対策」「地域での健康づくり」「生涯学習の場」「子育て支援活動」「地域の魅力発信」が「やや満足」、「農林畜産業の持続活動」「農商工観の連携」「豊かな水資源の確保」「地域資源を活かした交流促進」「UIJターンの推進」が「わからない」、「公共交通網の充実」が「やや不満」となっている。

(3) 各施策の重要度・満足度について

③各施策の重要度と満足度の分布

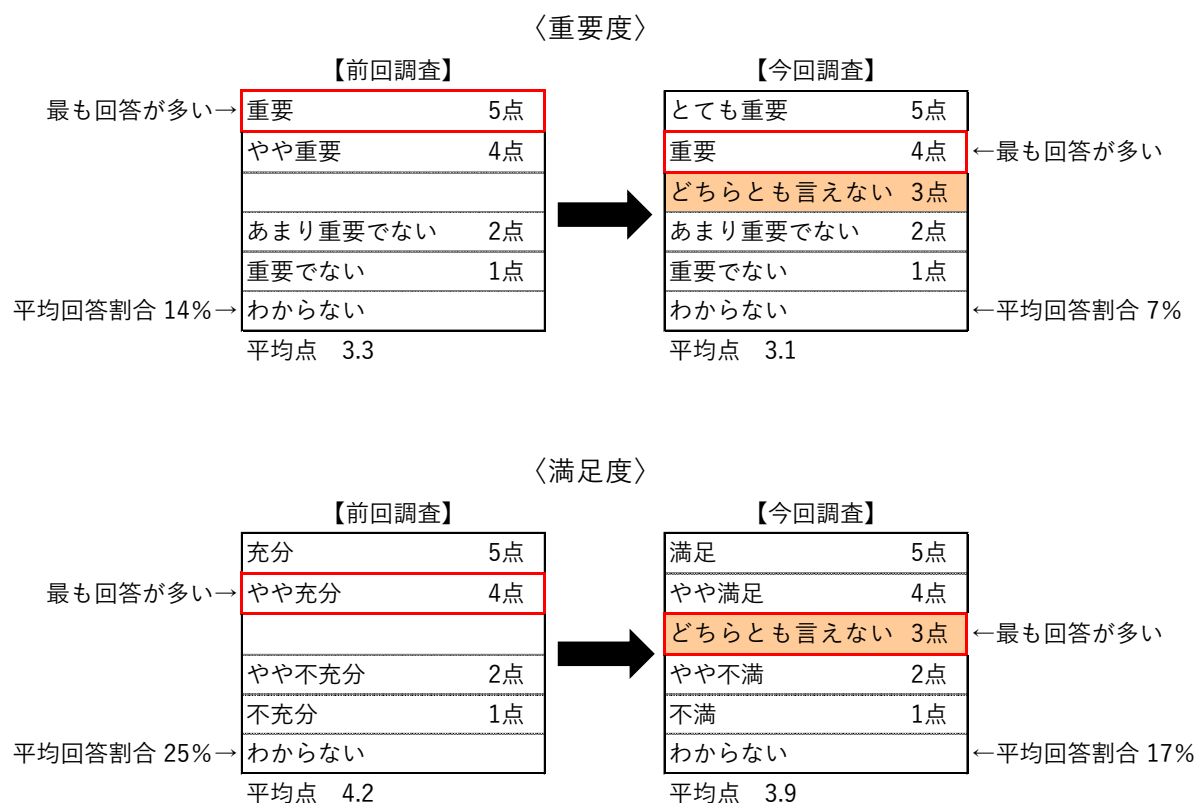
各施策の重要度と満足度について、以下の方法で平均点を算出した。

重要度：（「とても重要」×5点＋「重要」×4点＋「どちらとも言えない」×3点「あまり重要でない」×2点＋「重要でない」×1点）÷（全回答者数－「わからない」の回答者数－無回答の数）

満足度：（「満足」×5点＋「やや満足」×4点＋「どちらとも言えない」×3点「やや不満」×2点＋「不満」×1点）÷（全回答者数－「わからない」の回答者数－無回答の数）

重要度と満足度（※前回調査では充足度）に関する設問において、前回調査までは「わからない」の回答割合が高かったため、今回の調査では他市の事例を参照し、「どちらとも言えない」という選択肢を追加した。

そのため、「わからない」の回答割合が全体的に減少すると同時に、「とても重要・満足」「重要・やや満足」の回答割合が前回調査よりも減少し、重要度と満足度の平均点が低下していることに注意が必要である。

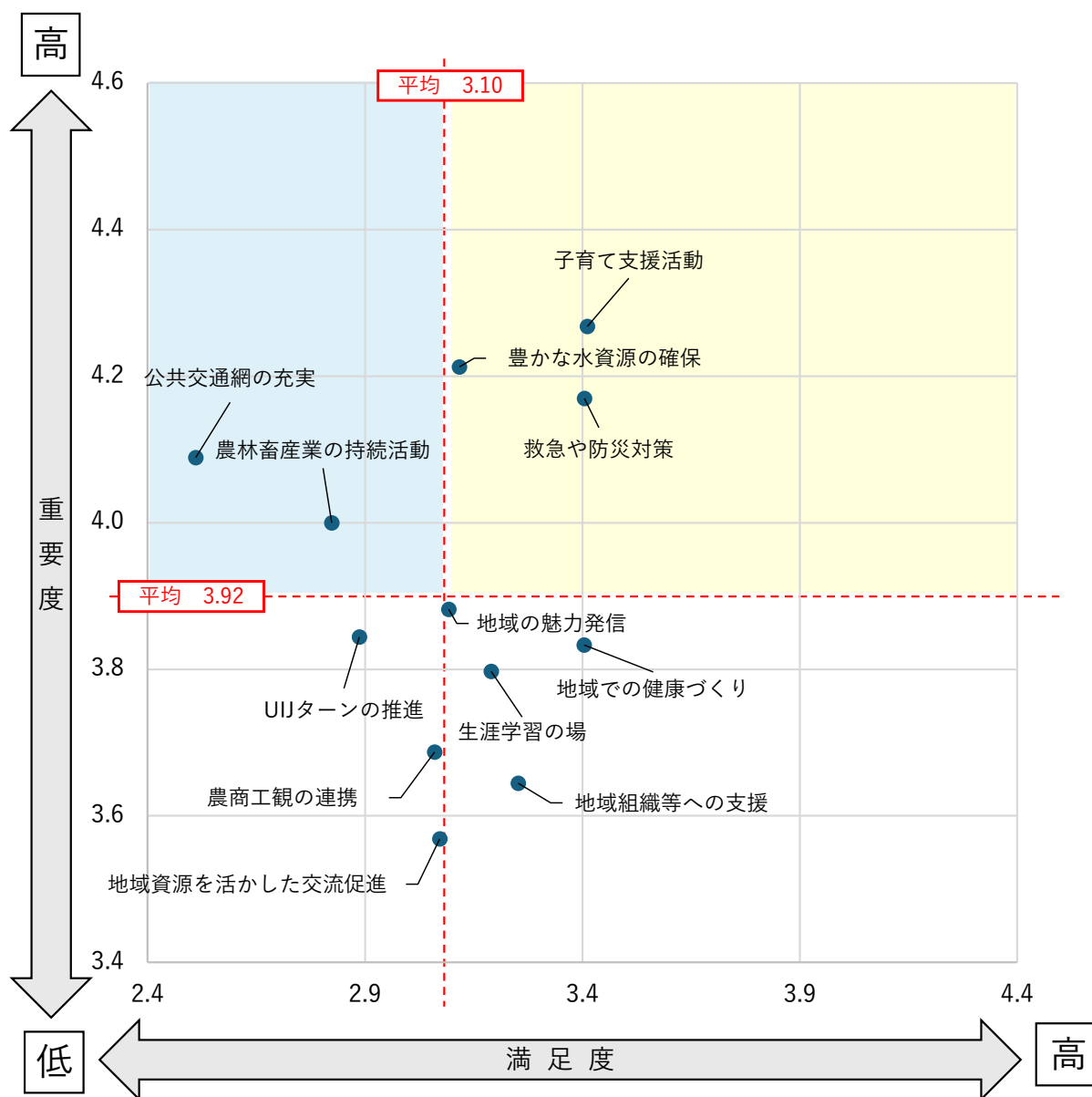


2. 調査結果

(3) 各施策の重要度・満足度について

〈今回調査における各施策の重要度と満足度の分布〉

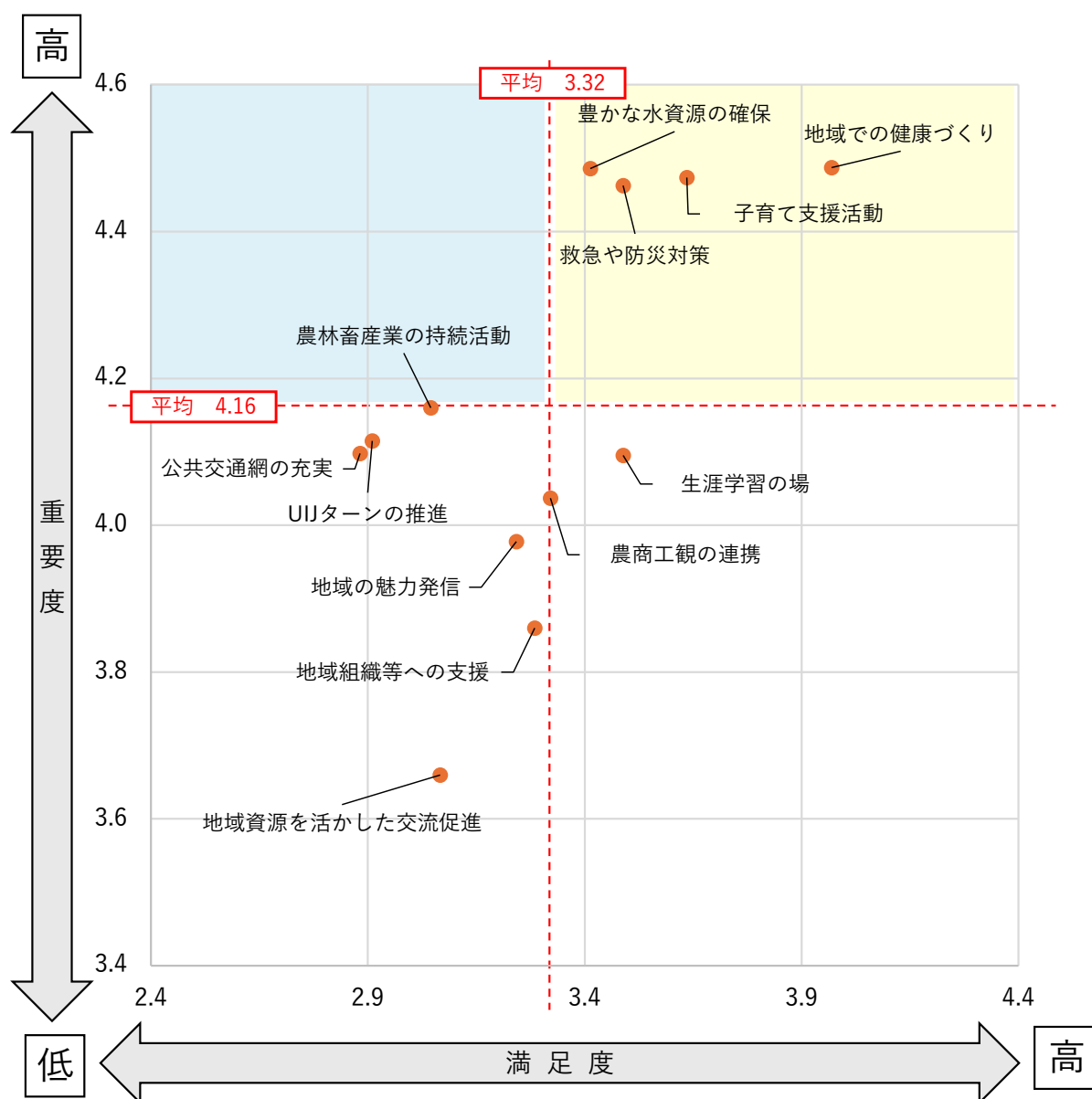
重要度と満足度が共に高い項目は、子育て、水資源、救急や防災対策に関する内容が該当する。一方で重要度が高く、満足度が低い項目については、農林畜産業や公共交通網に関する内容が該当する。



(3) 各施策の重要度・満足度について

〈前回調査における各施策の重要度と満足度の分布〉

重要度と満足度が共に高い項目は、子育て、水資源、救急や防災対策、健康づくりに関する内容が該当する。一方で重要度が高く、満足度が低い項目については、農林畜産業に関する内容が該当する。

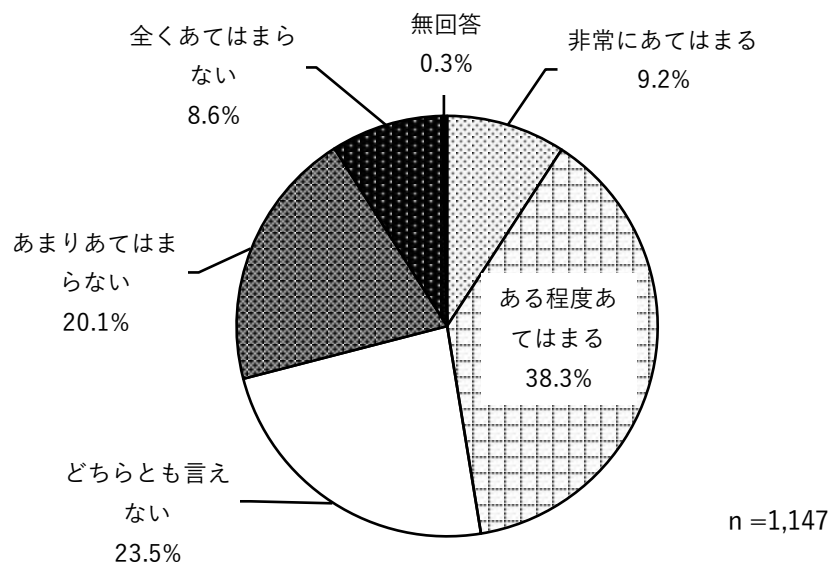


2. 調査結果

(4) 福祉施策の取組について

(4) 福祉施策の取組について

問21. あなたが暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいますか。(○は1つ)

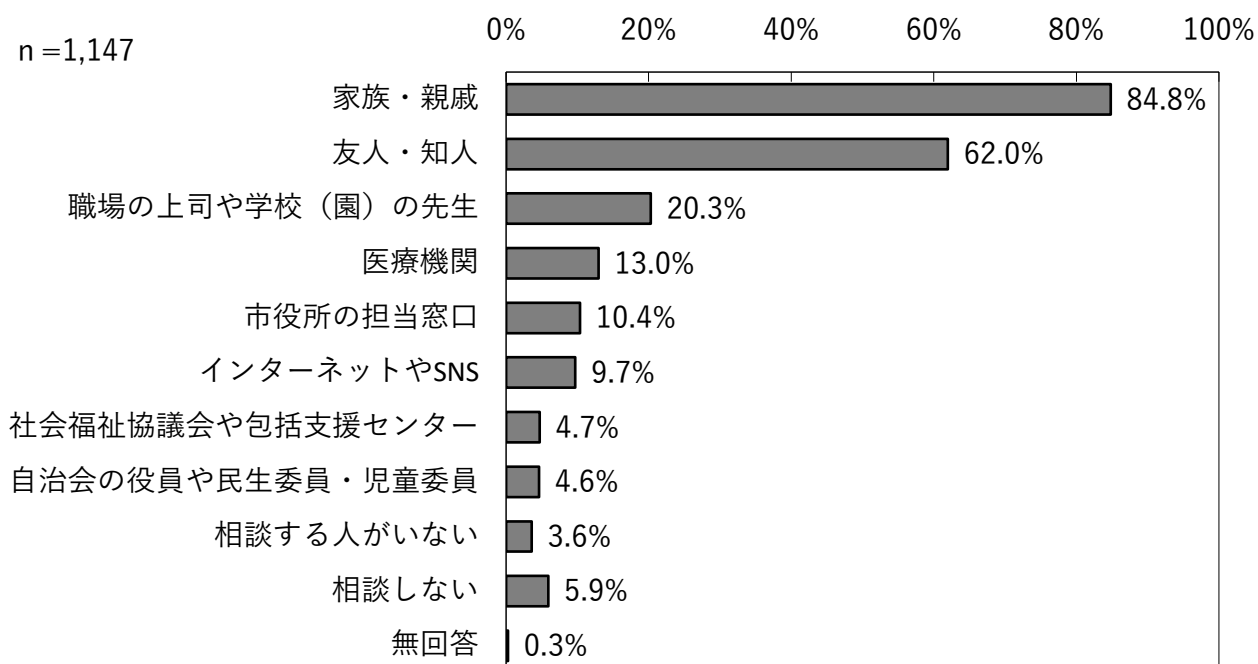


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	非常にあてはまる	105	9.2
2	ある程度あてはまる	439	38.3
3	どちらとも言えない	270	23.5
4	あまりあてはまらない	230	20.1
5	全くあてはまらない	99	8.6
	無回答	4	0.3
	全体	1,147	100.0

「ある程度あてはまる」との回答割合が最も高く、38.3%となっている。「あてはまる（非常にあてはまる＋ある程度あてはまる）」が47.5%と過半数近くを占めている一方で、「あてはまらない（あまりあてはまらない＋全くあてはまらない）」も28.7%と3割近くを占めている。

(4) 福祉施策の取組について

問22. あなたは悩みや不安を感じた時に、誰に（どこに）相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）



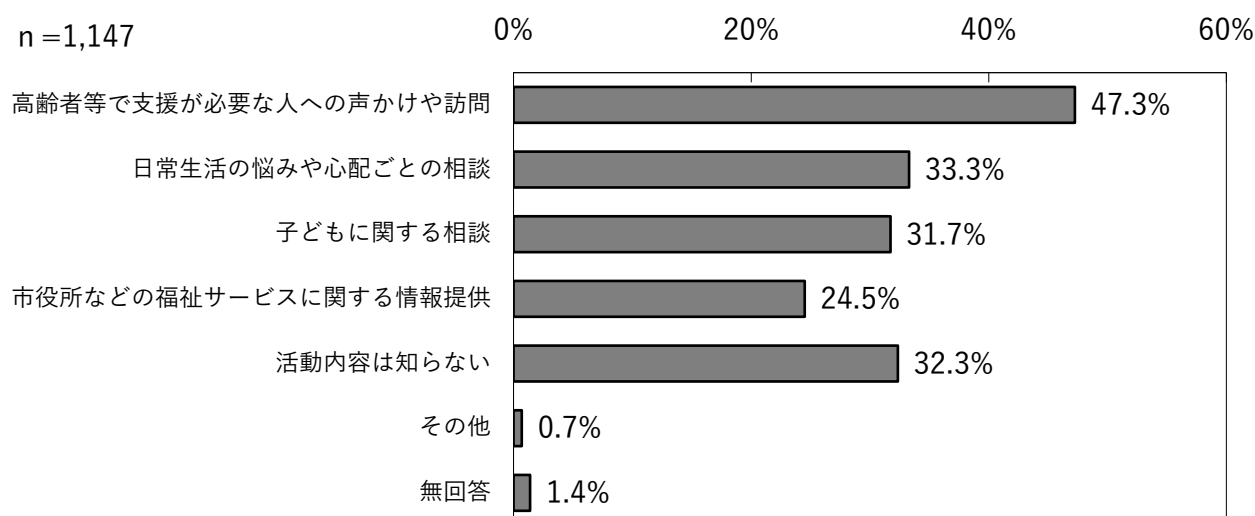
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	家族・親戚	973	84.8
2	友人・知人	711	62.0
3	職場の上司や学校（園）の先生	233	20.3
4	医療機関	149	13.0
5	市役所の担当窓口	119	10.4
6	インターネットやSNS	111	9.7
7	社会福祉協議会や包括支援センター	54	4.7
8	自治会の役員や民生委員・児童委員	53	4.6
9	相談する人がいない	41	3.6%
10	相談しない	68	5.9
	無回答	3	0.3

「家族・親戚」が84.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が62.0%、「職場の上司や学校（園）の先生」が20.3%となっている。一方で、「相談する人がいない」＋「相談しない」との回答は9.5%と1割近くを占めている。

2. 調査結果

(4) 福祉施策の取組について

問23. 民生委員・児童委員の活動のうち、あなたが知っていることはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

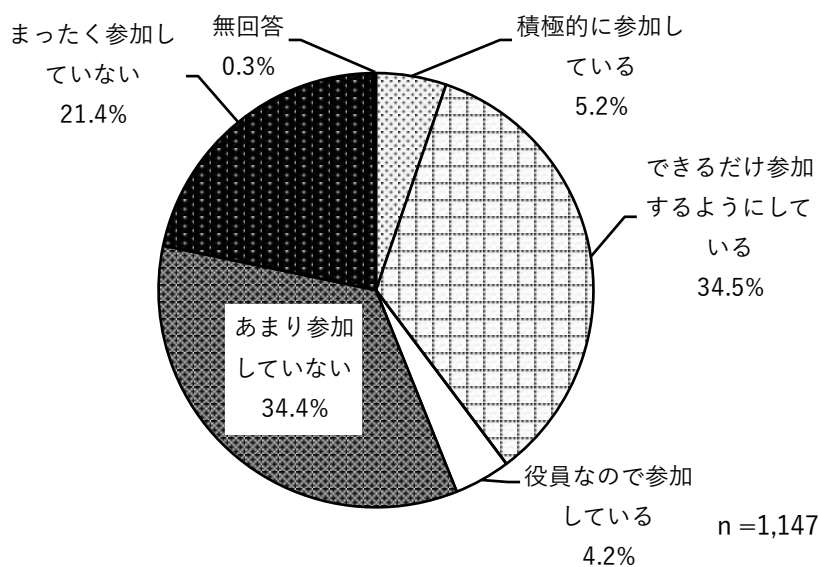


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	高齢者等で支援が必要な人への声かけや訪問	542	47.3
2	日常生活の悩みや心配ごとの相談	382	33.3
3	子どもに関する相談	364	31.7
4	市役所などの福祉サービスに関する情報提供	281	24.5
5	活動内容は知らない	371	32.3
6	その他	8	0.7
	無回答	16	1.4

「高齢者等で支援が必要な人への声かけや訪問」が47.3%と最も高く、次いで「日常生活の悩みや心配ごとの相談」が33.3%となっている。「活動内容は知らない」は32.3%となっており、3割以上を占めている。

(4) 福祉施策の取組について

問24. あなたは地域の行事や活動に参加していますか。(○は1つ)



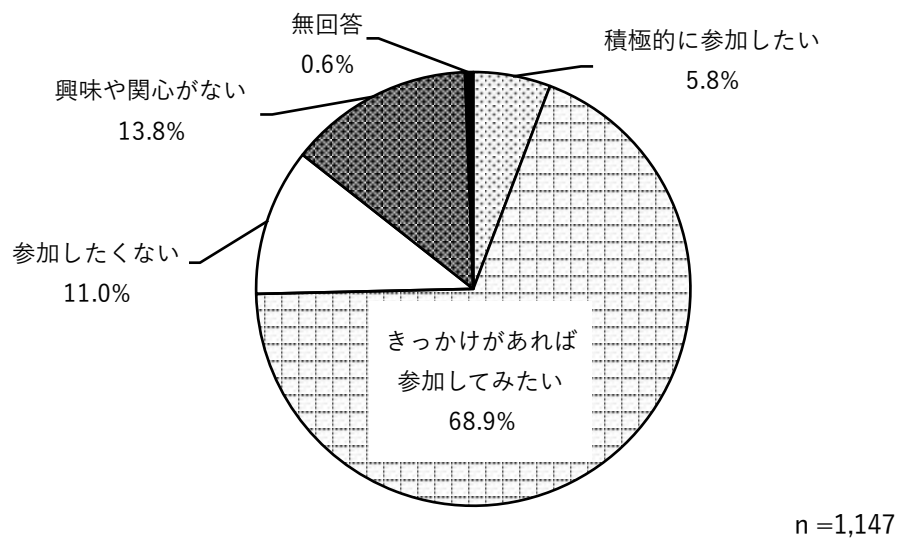
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	積極的に参加している	60	5.2
2	できるだけ参加するようにしている	396	34.5
3	役員なので参加している	48	4.2
4	あまり参加していない	394	34.4
5	まったく参加していない	246	21.4
	無回答	3	0.3
	全体	1,147	100.0

「できるだけ参加するようにしている」との回答割合が最も高く、34.5%となっている。
「参加していない(あまり参加していない+まったく参加していない)」が55.8%を占め、
「参加している(積極的に参加している+できるだけ参加するようにしている+役員なので参加している)」の43.9%を上回っている。

2. 調査結果

(4) 福祉施策の取組について

問25. あなたは、ボランティア活動についてどのように思いますか。(○は1つ)

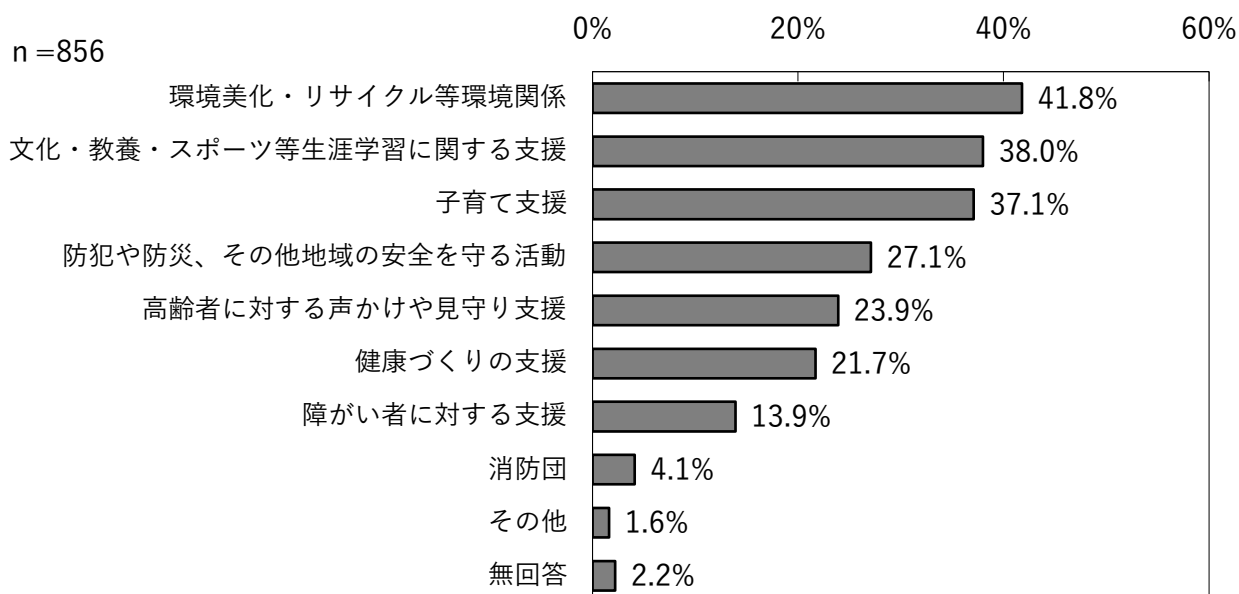


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	積極的に参加したい	66	5.8
2	きっかけがあれば参加してみたい	790	68.9
3	参加したくない	126	11.0
4	興味や関心がない	158	13.8
	無回答	7	0.6
	全体	1,147	100.0

「きっかけがあれば参加してみたい」との回答割合が最も高く、68.9%と過半数を占めている。

(4) 福祉施策の取組について

問26-1. (問25で「積極的に参加したい」「きっかけがあれば参加してみたい」と回答した方のみお聞きします)
どのような活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)



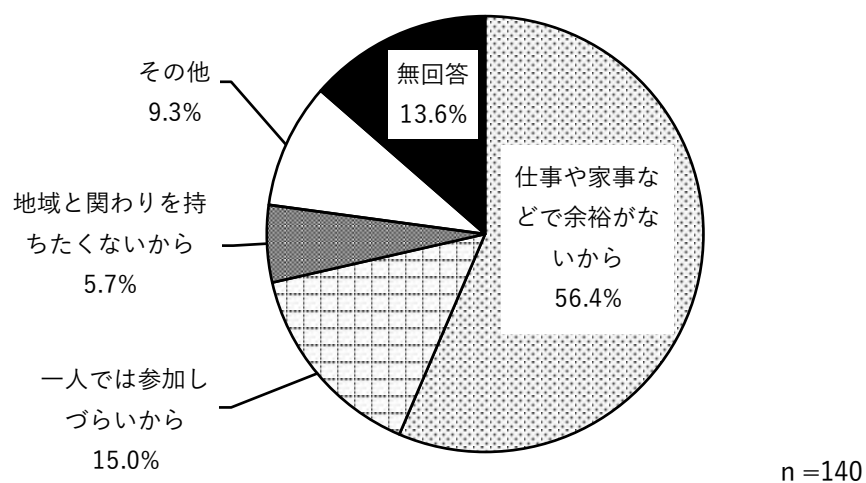
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	環境美化・リサイクル等環境関係	358	41.8
2	文化・教養・スポーツ等生涯学習に関する支援	325	38.0
3	子育て支援	318	37.1
4	防犯や防災、その他地域の安全を守る活動	232	27.1
5	高齢者に対する声かけや見守り支援	205	23.9
6	健康づくりの支援	186	21.7
7	障がい者に対する支援	119	13.9
8	消防団	35	4.1
9	その他	14	1.6
	無回答	19	2.2

「環境美化・リサイクル等環境関係」が41.8%と最も高く、次いで「文化・教養・スポーツ等生涯学習に関する支援」が38.0%、「子育て支援」が37.1%となっている。

2. 調査結果

(4) 福祉施策の取組について

問26-2. (問25で「参加したくない」と回答した方のみお聞きします)
なぜそのように思いますか。(○は1つ)

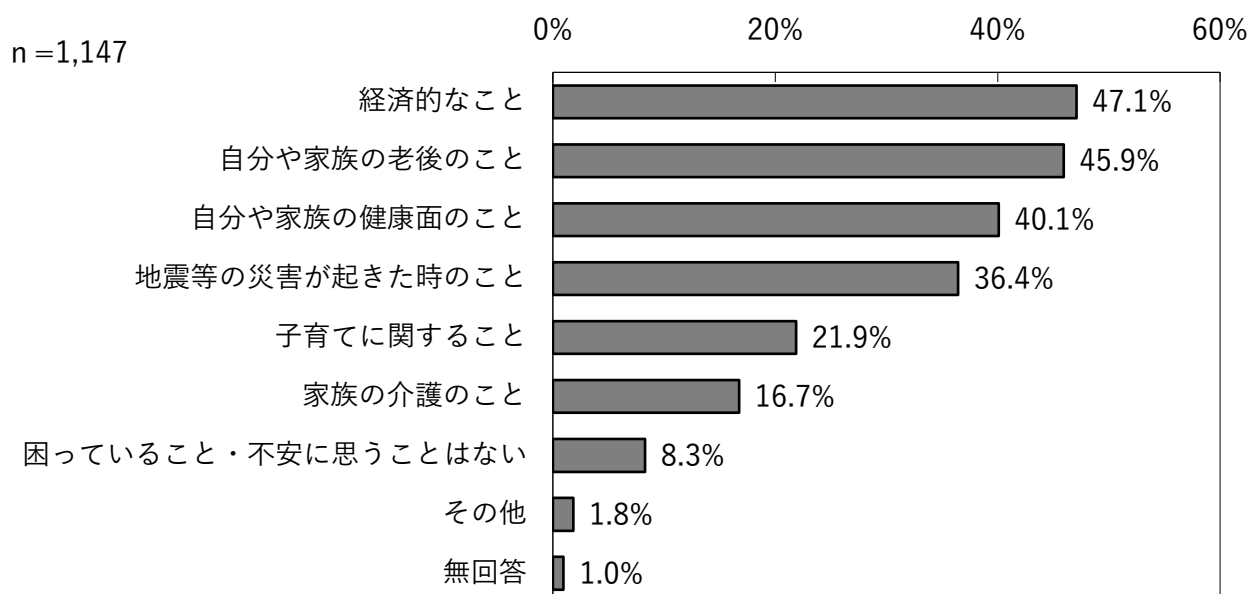


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	仕事や家事などで余裕がないから	79	56.4
2	一人では参加しづらいから	21	15.0
3	地域と関わりを持ちたくないから	8	5.7
4	その他	13	9.3
	無回答	19	13.6
	全体	140	100.0

「仕事や家事などで余裕がないから」との回答割合が最も高く、56.4%と過半数を占めている。

(4) 福祉施策の取組について

問27. あなたは現在、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
特に強く感じているものを3つまで選んでください。(○は3つまで)



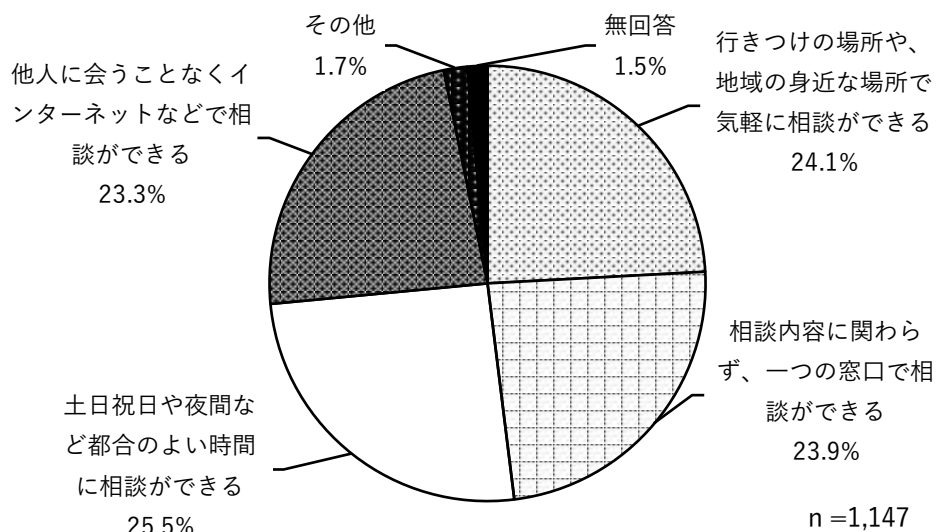
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	経済的なこと	540	47.1
2	自分や家族の老後のこと	527	45.9
3	自分や家族の健康面のこと	460	40.1
4	地震等の災害が起きた時のこと	418	36.4
5	子育てに関すること	251	21.9
6	家族の介護のこと	192	16.7
7	困っていること・不安に思うことはない	95	8.3
8	その他	21	1.8
	無回答	11	1.0

「経済的なこと」が47.1%と最も高く、次いで「自分や家族の老後のこと」が45.9%、「自分や家族の健康面のこと」が40.1%となっている。

2. 調査結果

(4) 福祉施策の取組について

問28. 福祉に関する相談窓口について、どのような窓口であれば相談しやすいと思いますか。特にあてはまるもの1つに○をしてください。(○は1つ)

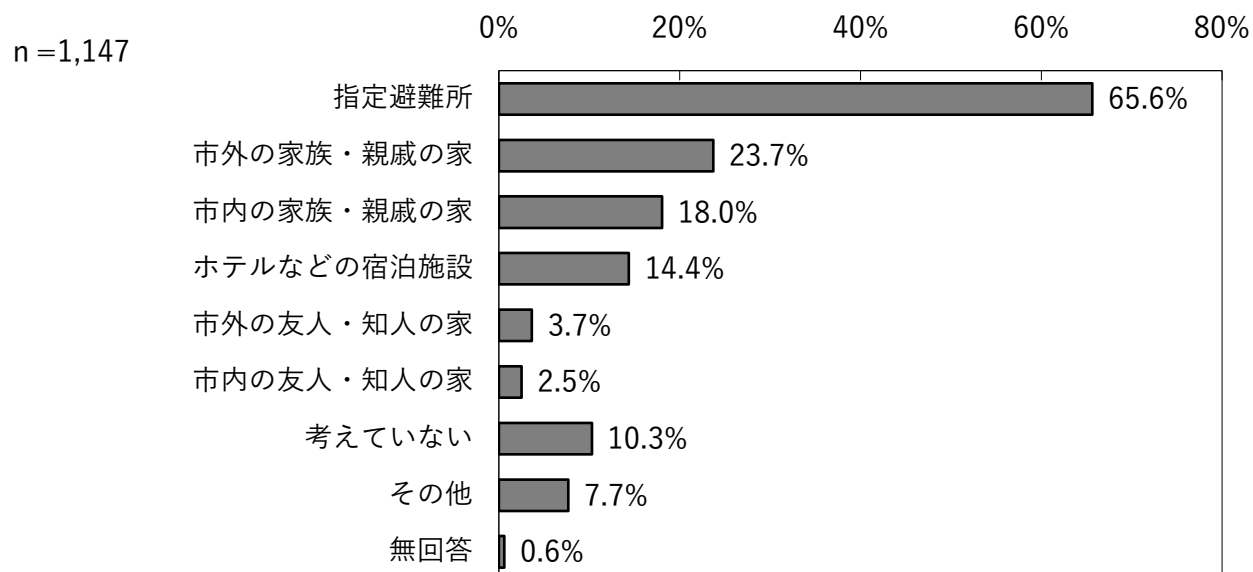


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	行きつけの場所や、地域の身近な場所で気軽に相談ができる	277	24.1
2	相談内容に関わらず、一つの窓口で相談ができる	274	23.9
3	土日祝日や夜間など都合のよい時間に相談ができる	292	25.5
4	他人に会うことなくインターネットなどで相談ができる	267	23.3
5	その他	20	1.7
	無回答	17	1.5
	全体	1,147	100.0

「土日祝日や夜間など都合のよい時間に相談ができる」が25.5%と最も高く、次いで「行きつけの場所や、地域の身近な場所で気軽に相談ができる」が24.1%となっている。「その他」以外の4つの選択肢の回答割合の差は2%程度となっており、いずれの選択肢についても重視している市民が一定数いることがわかる。

(4) 福祉施策の取組について

問29. あなたは災害（地震・風水害）発生時、どこに避難しようと考えていますか。
（候補として考えているところすべてに○）



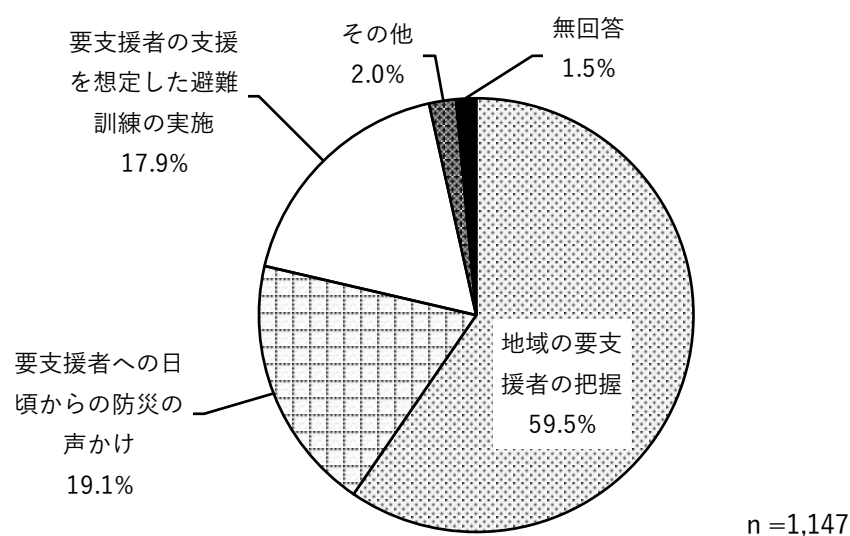
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	指定避難所	753	65.6
2	市外の家族・親戚の家	272	23.7
3	市内の家族・親戚の家	207	18.0
4	ホテルなどの宿泊施設	165	14.4
5	市外の友人・知人の家	42	3.7
6	市内の友人・知人の家	29	2.5
7	考えていない	118	10.3
8	その他	88	7.7
	無回答	7	0.6

「指定避難所」が65.6%と最も高く、次いで「市外の家族・親戚の家」が23.7%、「市内の家族・親戚の家」が18.0%となっている。

2. 調査結果

(4) 福祉施策の取組について

問30. 災害（地震・風水害）が発生した時に、一人では避難することができない方（要支援者）の支援として、特に地域で取り組むことが必要だと思うことは何ですか。（○は1つ）

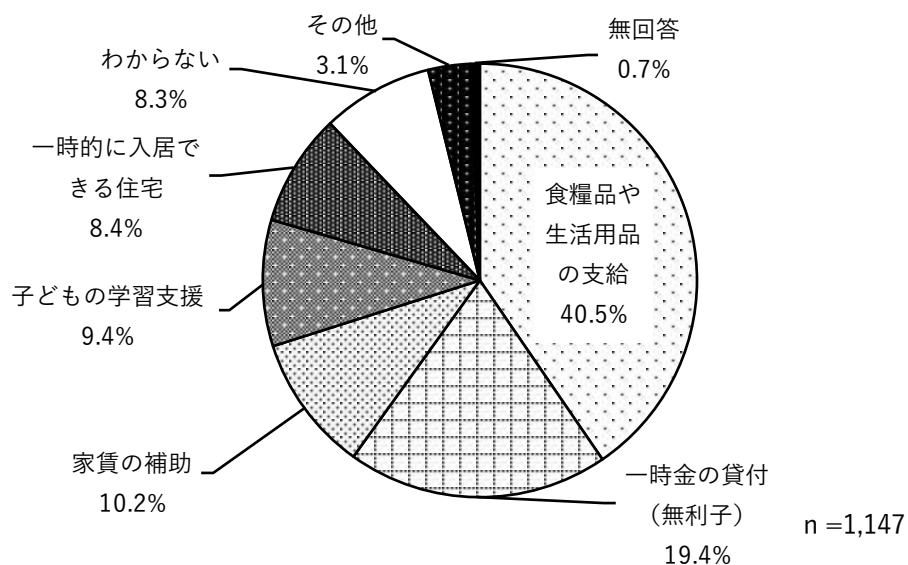


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	地域の要支援者の把握	683	59.5
2	要支援者への日頃からの防災の声かけ	219	19.1
3	要支援者の支援を想定した避難訓練の実施	205	17.9
4	その他	23	2.0
	無回答	17	1.5
	全体	1,147	100.0

「地域の要支援者の把握」が59.5%と最も高く、次いで「要支援者への日頃からの防災の声かけ」が19.1%となっている。

(4) 福祉施策の取組について

問31. あなたは、経済的に生活に困ったときに、特にどんな支援があったら良いと思いますか。(〇は1つ)



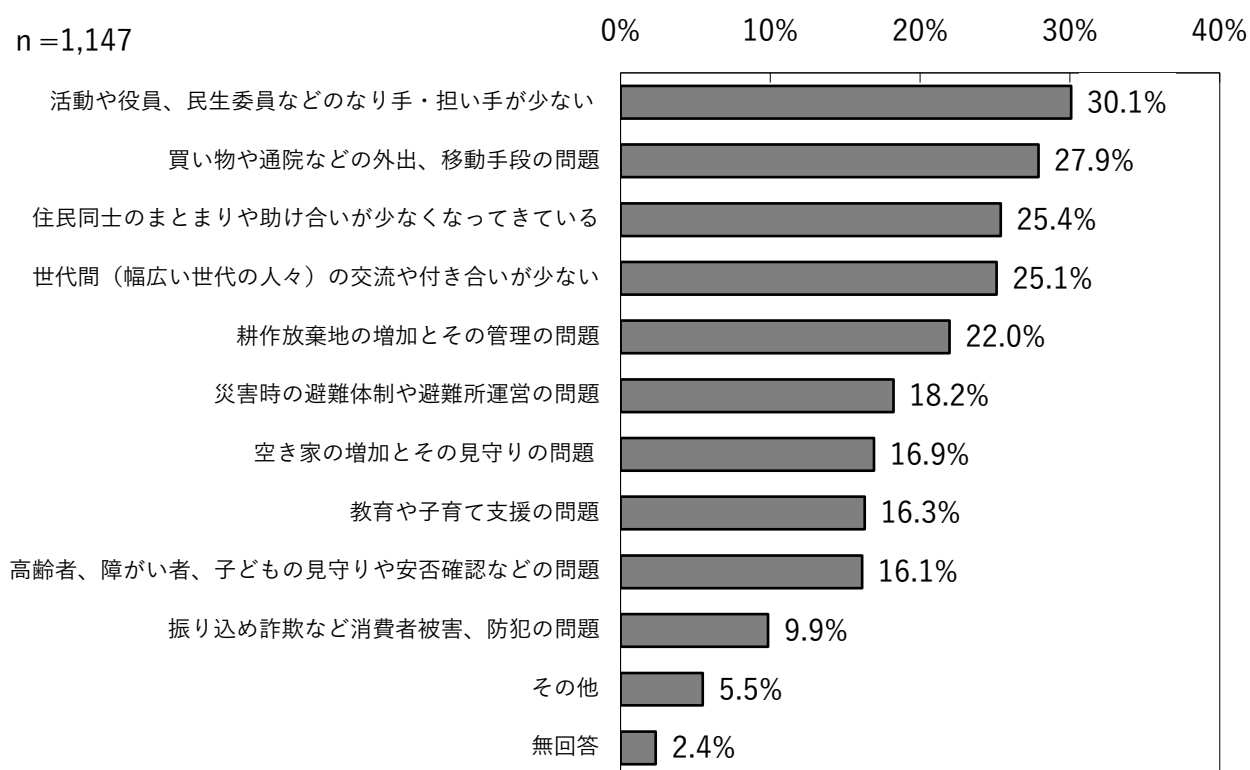
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	食糧品や生活用品の支給	464	40.5
2	一時金の貸付（無利子）	223	19.4
3	家賃の補助	117	10.2
4	子どもの学習支援	108	9.4
5	一時的に入居できる住宅	96	8.4
6	わからない	95	8.3
7	その他	36	3.1
	無回答	8	0.7
	全体	1,147	100.0

「食糧品や生活用品の支給」が40.5%と最も高く、次いで「一時金の貸付（無利子）」が19.4%となっている。

2. 調査結果

(4) 福祉施策の取組について

問3 2. 現在あなたが住んでいる地区で、特に大きな問題や課題と思うことはどんなことですか。(〇は3つまで)

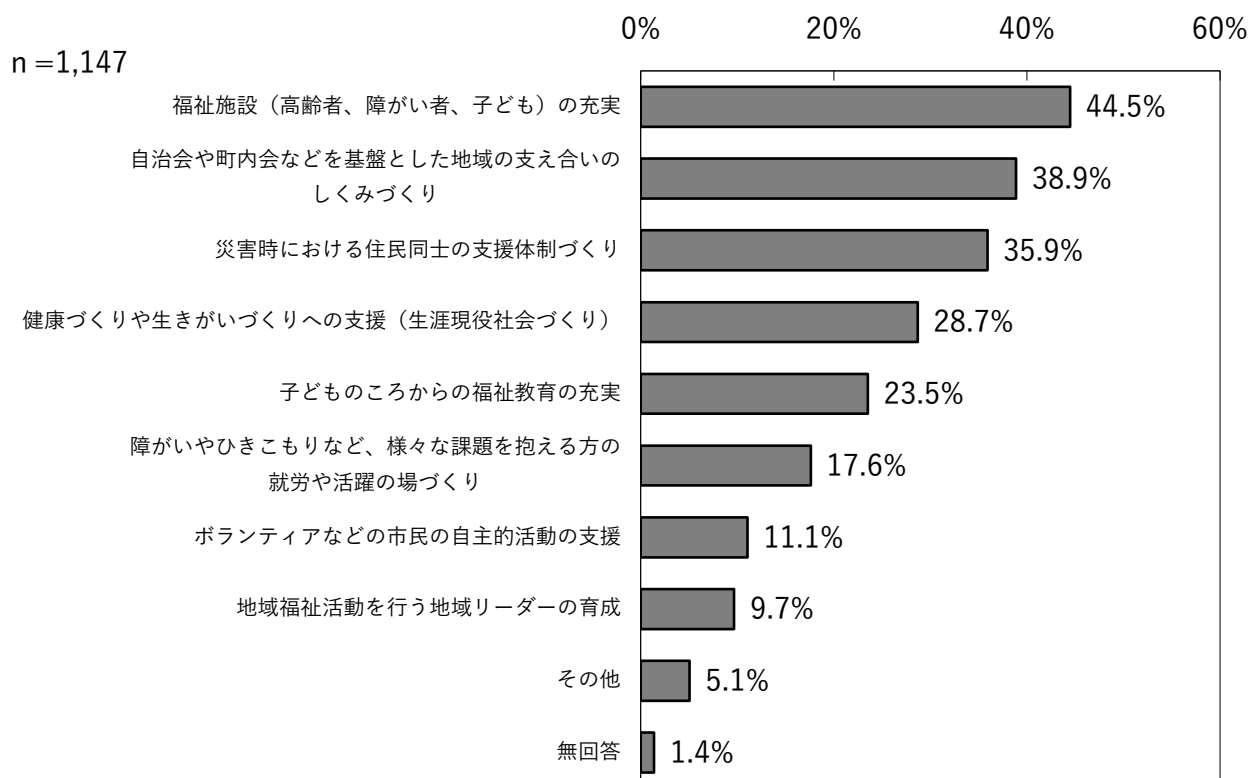


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	活動や役員、民生委員などのなり手・担い手が少ない	345	30.1
2	買い物や通院などの外出、移動手段の問題	320	27.9
3	住民同士のまとまりや助け合いが少なくなっている	291	25.4
4	世代間（幅広い世代の人々）の交流や付き合いが少ない	288	25.1
5	耕作放棄地の増加とその管理の問題	252	22.0
6	災害時の避難体制や避難所運営の問題	209	18.2
7	空き家の増加とその見守りの問題	194	16.9
8	教育や子育て支援の問題	187	16.3
9	高齢者、障がい者、子どもの見守りや安否確認などの問題	185	16.1
10	振り込め詐欺など消費者被害、防犯の問題	113	9.9
11	その他	63	5.5
	無回答	27	2.4

「活動や役員、民生委員などのなり手・担い手が少ない」が30.1%と最も高く、次いで「買い物や通院などの外出、移動手段の問題」が27.9%、「住民同士のまとまりや助け合いが少なくなっている」が25.4%となっている。

(4) 福祉施策の取組について

問33. 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための必要な施策として、今後特に重点をおくべきと思うことはどんなことですか。(〇は3つまで)



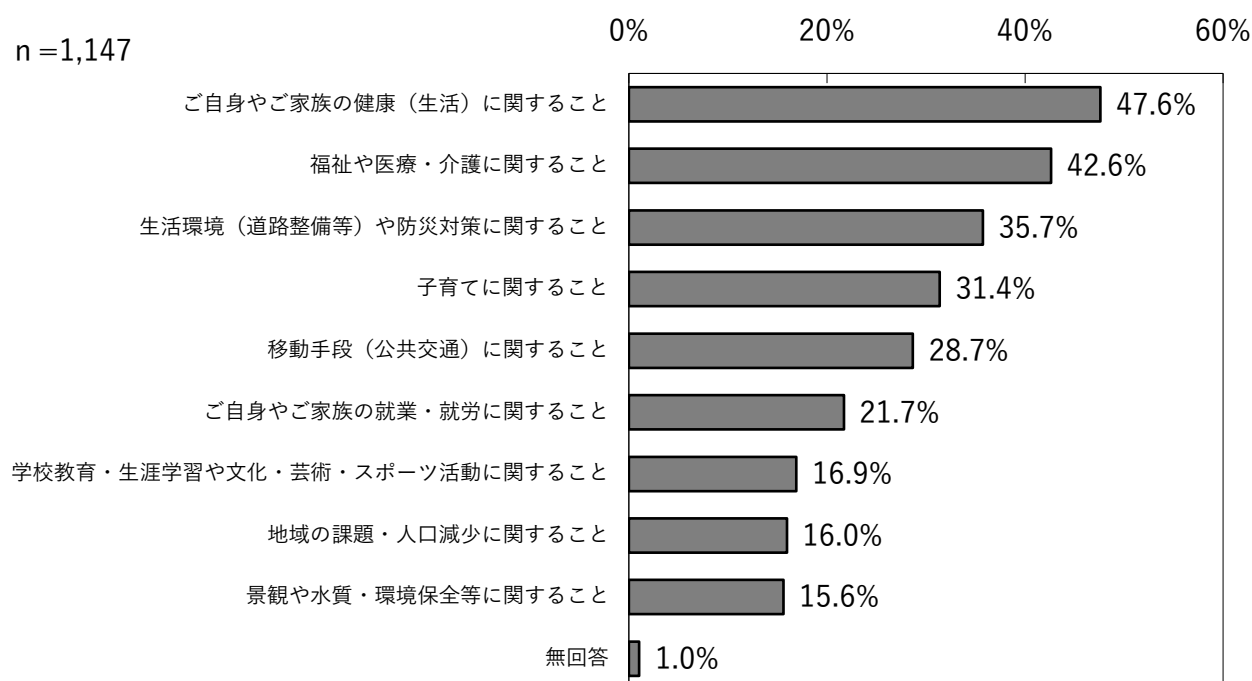
No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	福祉施設（高齢者、障がい者、子ども）の充実	510	44.5
2	自治会や町内会などを基盤とした地域の支え合いのしくみづくり	446	38.9
3	災害時における住民同士の支援体制づくり	412	35.9
4	健康づくりや生きがいづくりへの支援（生涯現役社会づくり）	329	28.7
5	子どものころからの福祉教育の充実	270	23.5
6	障がいやひきこもりなど、様々な課題を抱える方の就労や活躍の場づくり	202	17.6
7	ボランティアなどの市民の自主的活動の支援	127	11.1
8	地域福祉活動を行う地域リーダーの育成	111	9.7
9	その他	58	5.1
	無回答	16	1.4

「福祉施設（高齢者、障がい者、子ども）の充実」が44.5%と最も高く、次いで「自治会や町内会などを基盤とした地域の支え合いのしくみづくり」が38.9%、「災害時における住民同士の支援体制づくり」が35.9%となっている。

2. 調査結果

(4) 福祉施策の取組について

問34. これから取り組む施策として関心がある事項を選択してください。(上位3つ)



No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	ご自身やご家族の健康（生活）に関すること	546	47.6
2	福祉や医療・介護に関すること	489	42.6
3	生活環境（道路整備等）や防災対策に関すること	410	35.7
4	子育てに関すること	360	31.4
5	移動手段（公共交通）に関すること	329	28.7
6	ご自身やご家族の就業・就労に関すること	249	21.7
7	学校教育・生涯学習や文化・芸術・スポーツ活動に関すること	194	16.9
8	地域の課題・人口減少に関すること	183	16.0
9	景観や水質・環境保全等に関すること	179	15.6
	無回答	12	1.0

「ご自身やご家族の健康（生活）に関すること」が47.6%と最も高く、次いで「福祉や医療・介護に関すること」が42.6%、「生活環境（道路整備等）や防災対策に関すること」が35.7%となっている。

(5) Well-being指標について

(5) Well-being指標について

※地域幸福度（Well-Being）指標：

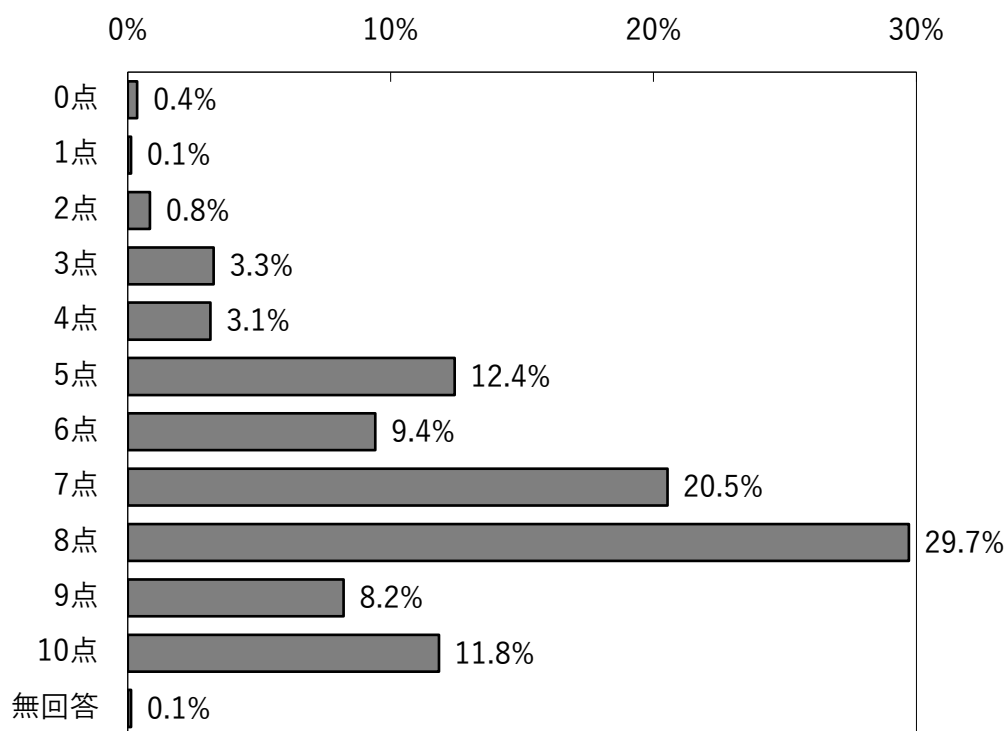
この指標は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化・可視化した全国共通の指標で、指標の整備により全国の市町村との比較や、データに基づくまちづくりに役立てることができるもの。

以下のWell-being指標に関する設問については任意回答としたため、回答数は828となっている。

①地域における幸福度・満足度

問36. 現在、あなたはどの程度幸せですか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。



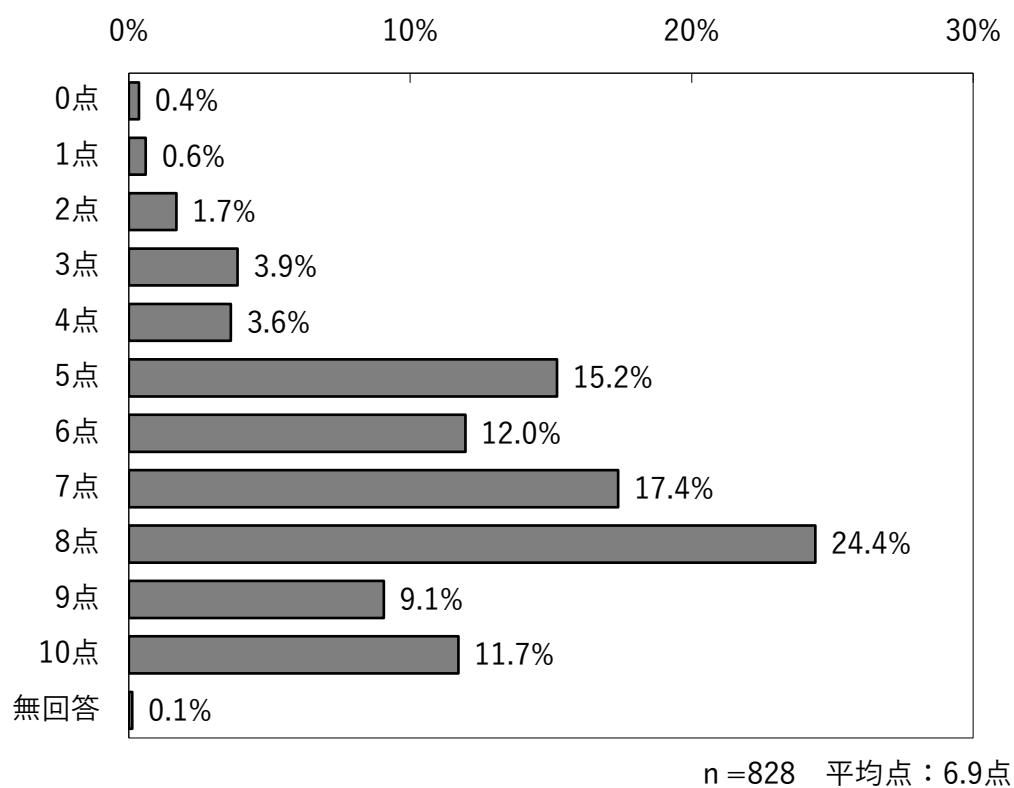
n=828 平均点：7.2点

「8点」が29.7%と最も高く、次いで「7点」が20.5%、「5点」が12.4%となっている。
平均点は7.2点となっている。

2. 調査結果

(5) Well-being指標について

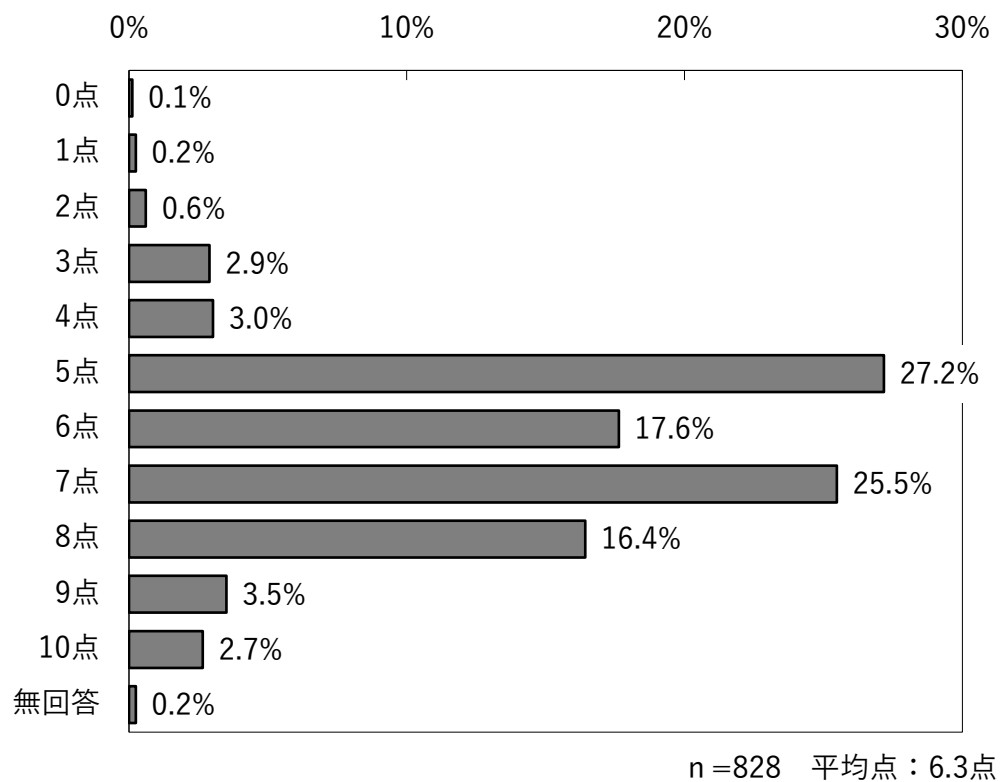
問37. 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。



「8点」が24.4%と最も高く、次いで「7点」が17.4%、「5点」が15.2%となっている。
平均点は6.9点となっている。

(5) Well-being指標について

問38. あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

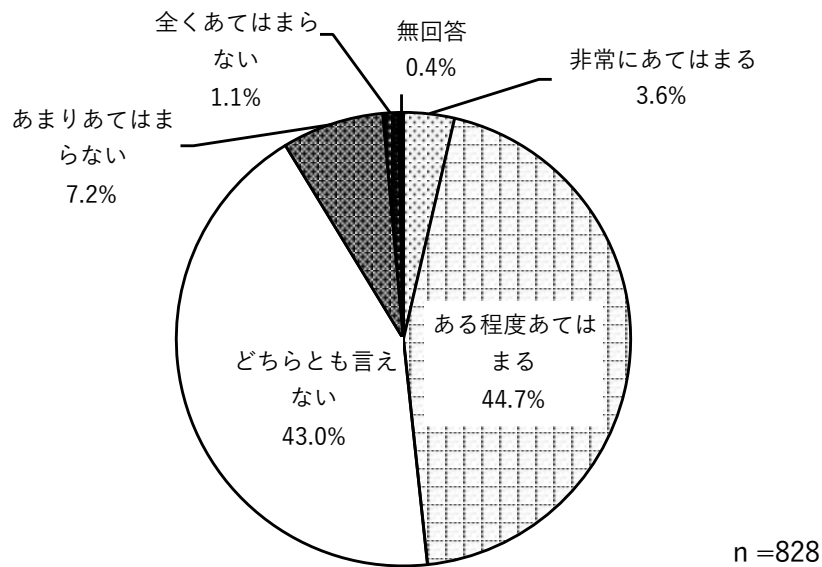


「5点」が27.2%と最も高く、次いで「7点」が25.5%、「6点」が17.6%となっている。
平均点は6.3点となっている。

2. 調査結果

(5) Well-being指標について

問39. 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか。

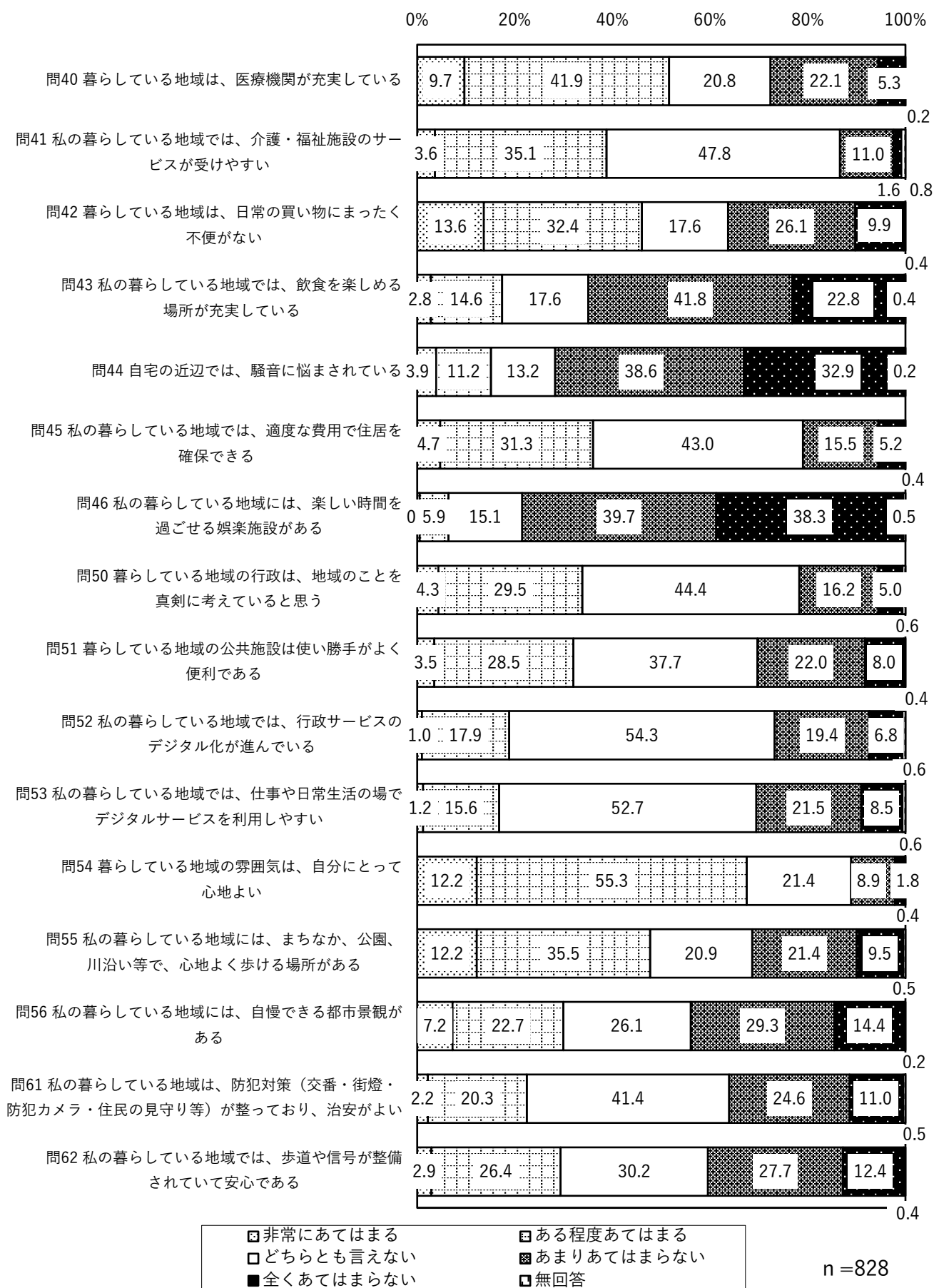


No.	選択肢	人数	構成比 (%)
1	非常にあてはまる	30	3.6%
2	ある程度あてはまる	370	44.7%
3	どちらとも言えない	356	43.0%
4	あまりあてはまらない	60	7.2%
5	全くあてはまらない	9	1.1%
	無回答	3	0.4%
	全体	828	100.0%

「ある程度あてはまる」が44.7%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が43.0%となっている。

(5) Well-being指標について

②生活環境（都市環境）



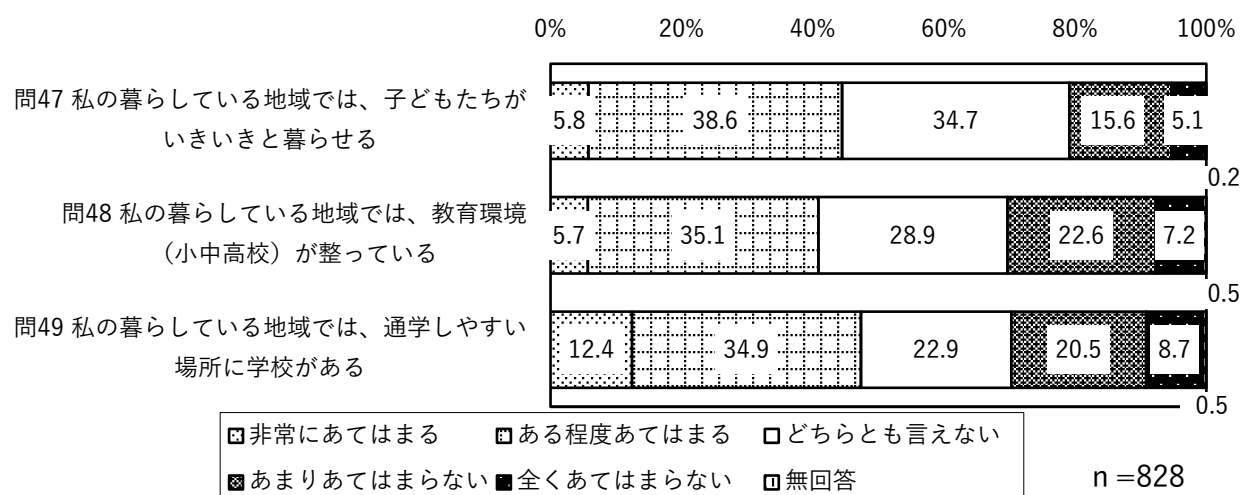
2. 調査結果

(5) Well-being指標について

問40・問42・問54・問55は「あてはまる（非常にあてはまる＋ある程度あてはまる）」が4割以上を占めている。

一方で、問43・問44・問46は「あてはまらない（あまりあてはまらない＋全くあてはまらない）」が6割以上、問56・問62は「あてはまらない」が4割以上を占めている。

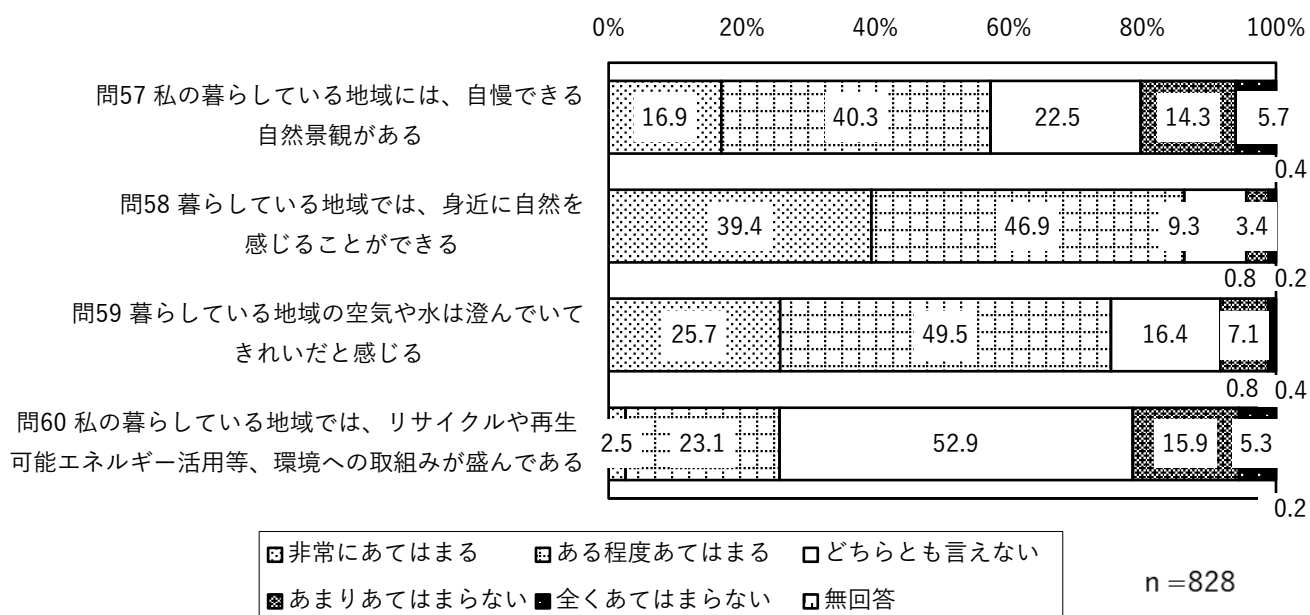
③生活環境（子育て・教育）



いずれの設問も、「あてはまる（非常にあてはまる＋ある程度あてはまる）」が4割以上を占めている。

(5) Well-being指標について

④生活環境（自然環境）



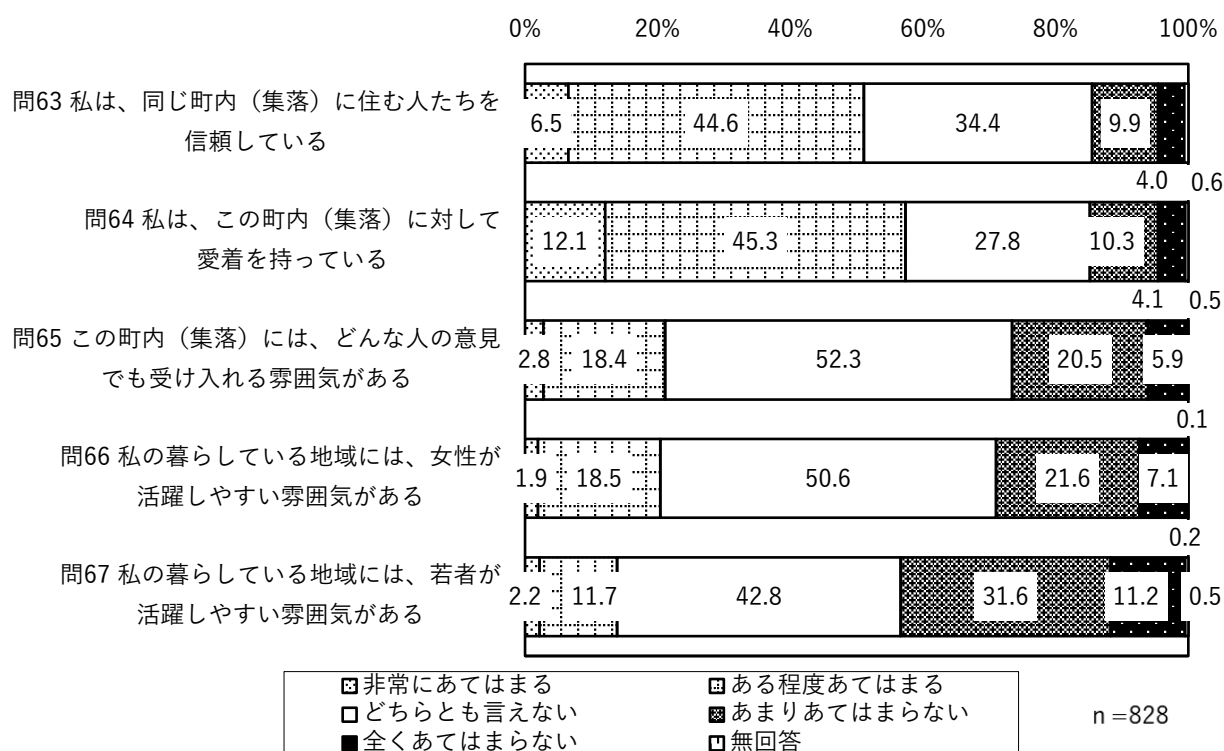
問58と問59は「あてはまる（非常にあてはまる＋ある程度あてはまる）」が大多数を占めている。

一方で、問60は「どちらとも言えない」が過半数を占めている。

2. 調査結果

(5) Well-being指標について

⑤地域の人間関係

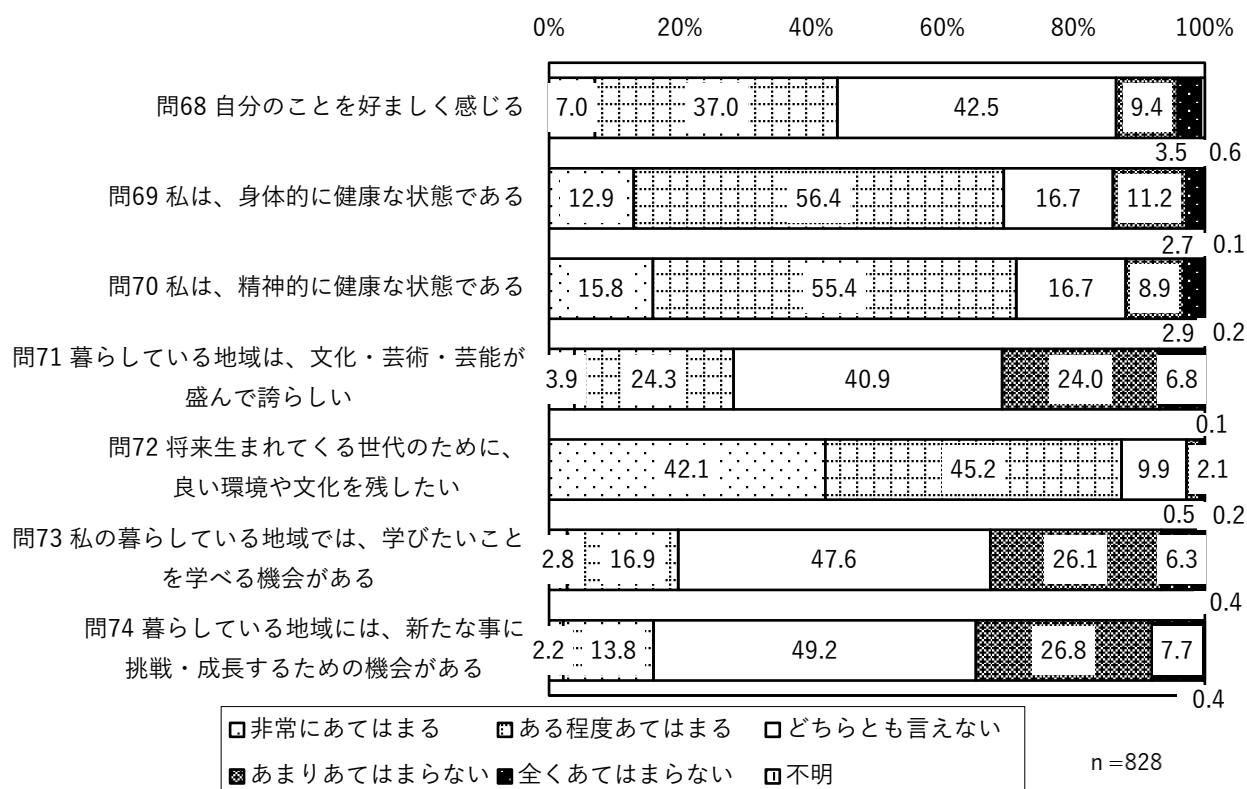


問63と問64は「あてはまる（非常にあてはまる＋ある程度あてはまる）」が過半数を占めている一方で、他の3つの設問については2割程度となっている。

中でも問67は「あてはまらない（あまりあてはまらない＋全くあてはまらない）」が4割以上を占めている。

(5) Well-being指標について

⑥自分らしい生き方



問72は「あてはまる（非常にあてはまる＋ある程度あてはまる）」が9割近くを占めており、問69と問70についても「あてはまる」が7割程度を占めている。

他の設問については「どちらとも言えない」が4割以上を占め、問71・問73・問74は「あてはまらない（あまりあてはまらない＋全くあてはまらない）」が3割以上を占めている。